

令和 6 年度
第 1 回 足立区政に関する世論調査
(小規模調査)
調査報告書

《プラスチック分別回収について》

足立区 政策経営部 区政情報課

令和 7 年 2 月発行

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の時期.....	3
3 今回の区政モニター数、一般抽出者数、回答者数	3
4 モデル実施地域について	3
5 回答者の構成と属性.....	4
6 報告書の見方.....	8
第2章 調査結果の3つのポイント及び今後の方針	9
第3章 調査結果の詳細	21
1 ごみを出している場所.....	25
2 プラスチック分別回収のモデル実施の認知度	27
3 プラスチック分別回収のモデル実施を知ったきっかけ	30
4 プラスチックを分別できる（と思う）程度	31
5 プラスチックを分別できない（と思う）理由	33
6 中身や汚れが残っているプラスチックの処分方法	34
7 減ったと感じる（減ると思う）燃やすごみの量	35
8 ごみの収集日や分別方法などの周知方法	36
9 プラスチック分別回収についての情報発信の内容	38
10 分別方法等のほかに知らせてほしい情報	41
11 プラスチックを分別回収することについて、良いと思う事柄	44
12 プラスチックを分別回収することについて、良くないと思う事柄	45
13 分別ルールを徹底するために必要だと思う対策	46
14 アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え	47
第4章 調査票	49

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

令和6年4月からプラスチックの分別回収を行っている地域（千住・小台・宮城・新田）にお住まいの方を対象に、分別に関する意識について調査し、資源回収事業の促進を図ることを目的に実施いたしました。

2 調査の時期

令和6年9月27日（金）～令和6年10月25日（金）

3 今回の区政モニター数、一般抽出者数、回答者数

	標本数	回答者数 (回答率)	回答方法	
			郵送回答	インターネット回答
対象者全数	1,199 人	719 人 (60.0%)	450 人 (62.6%)	269 人 (37.4%)
一般抽出者	1,000 人	526 人 (52.6%)	404 人 (76.8%)	122 人 (23.2%)
区政モニター数	199 人	193 人 (97.0%)	46 人 (23.8%)	147 人 (76.2%)

※一般抽出者：千住・小台・宮城・新田地域在住の18歳以上の個人

4 モデル実施地域について

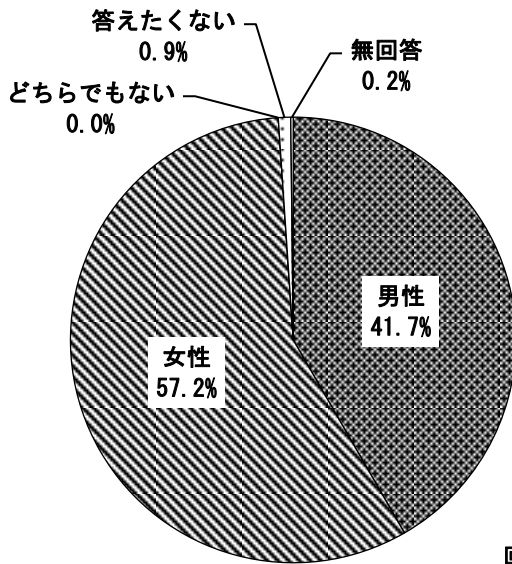
モデル実施地域とは、令和6年4月からプラスチック分別回収を行っている千住・小台・宮城・新田地域のことです。以下、報告書内で集計している「モデル実施地域」は、一般抽出者及び当該地域在住の区政モニター（33人）を含みます。

5 回答者の構成と属性

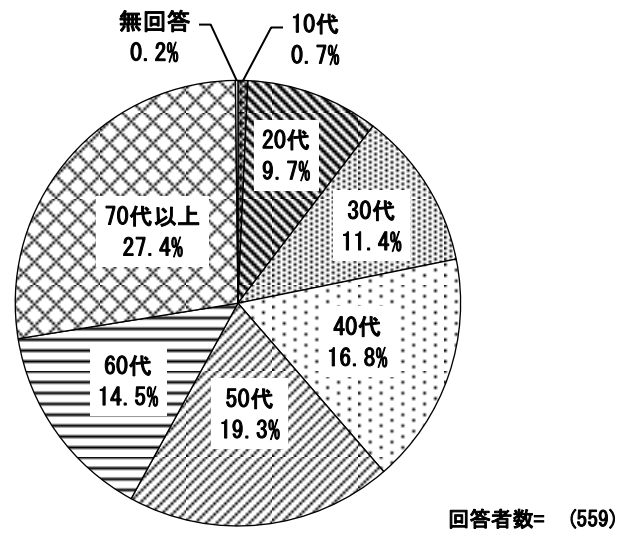
(1) 性別、年代別割合

【モデル実施地域】

<性別>

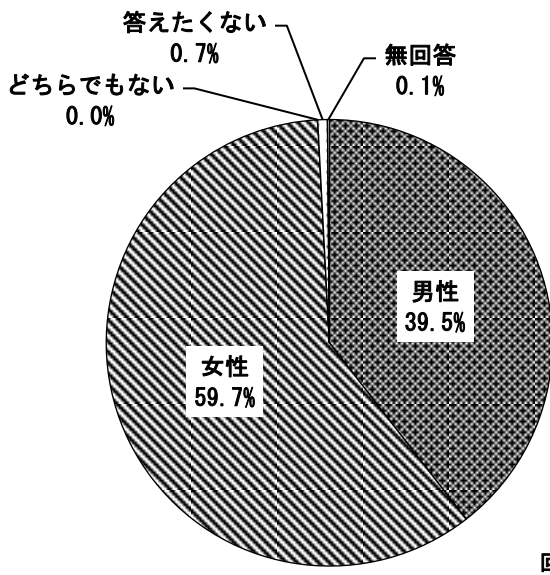


<年代>

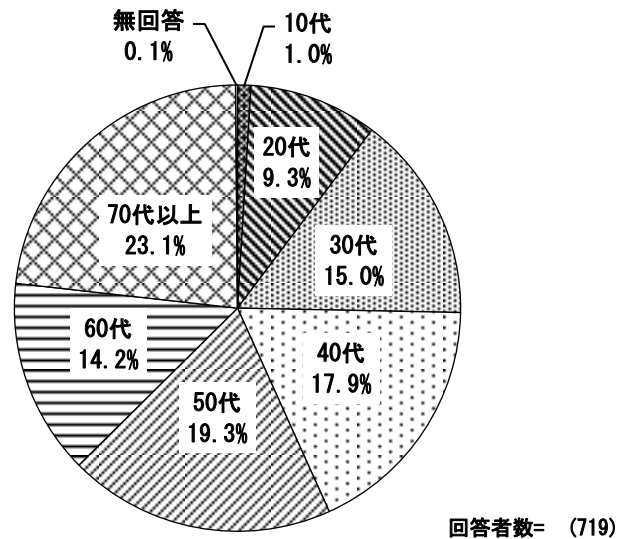


【回答者全体】

<性別>



<年代>



(2) 地域別人数

【モデル実施地域】

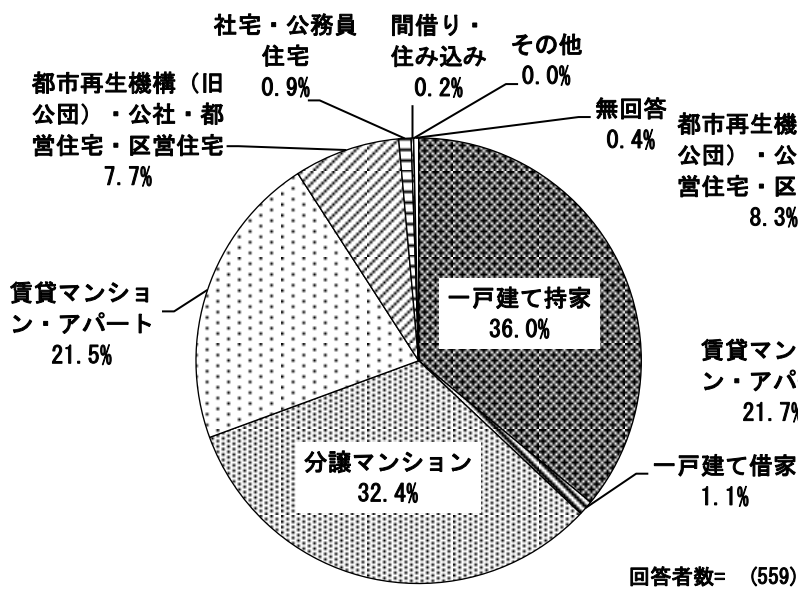
	人数	割合
全体	559	100.0%
千住	412	73.7%
小台・宮城	56	10.0%
新田	84	15.0%
その他	－	－
無回答	7	1.3%

【回答者全体】

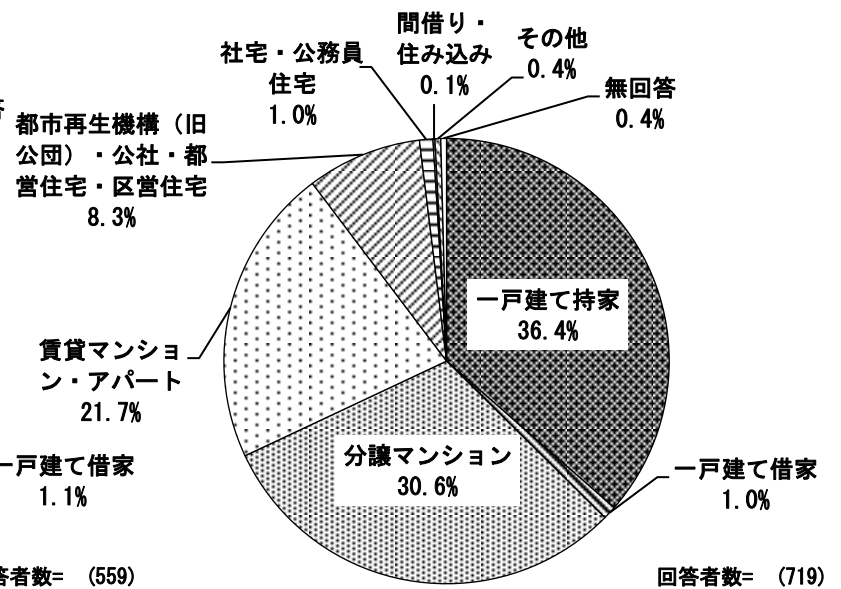
	人数	割合
全体	719	100.0%
千住	412	57.3%
小台・宮城	56	7.8%
新田	84	11.7%
その他	160	22.3%
無回答	7	1.0%

(3) 住居形態

【モデル実施地域】

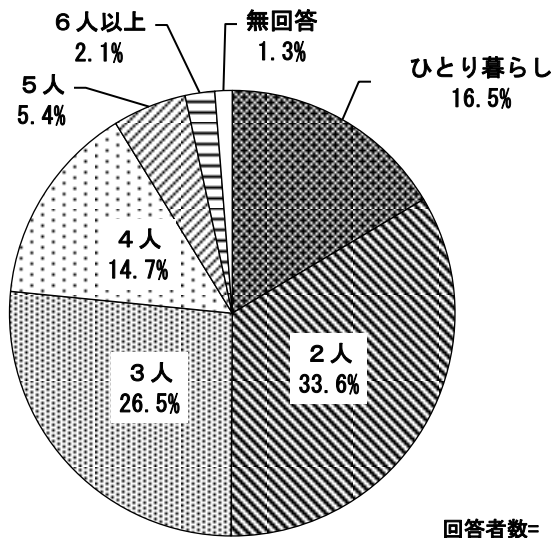


【回答者全体】

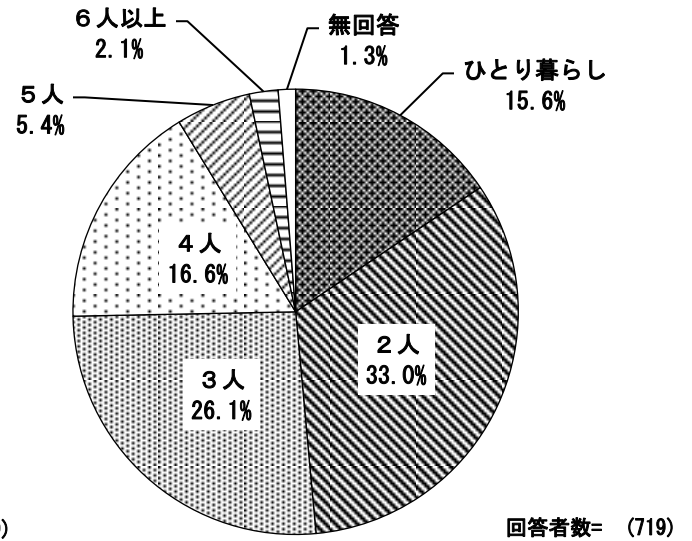


(4) 同居家族の人数

【モデル実施地域】

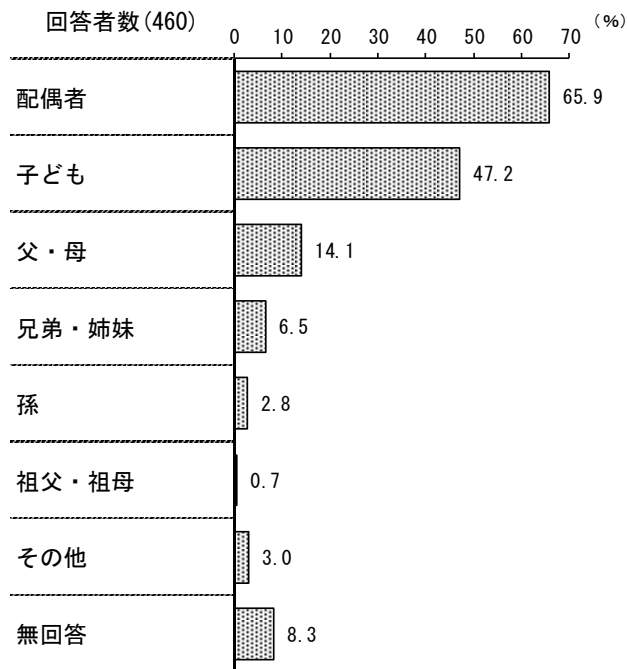


【回答者全体】

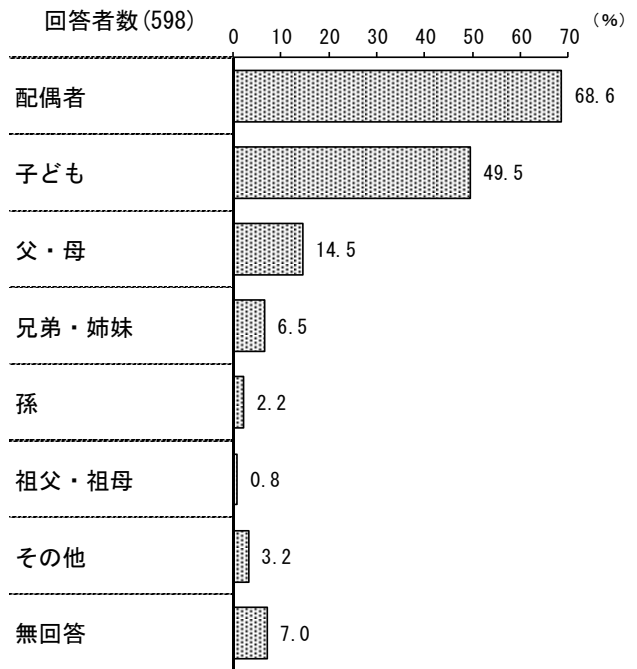


(5) 同居家族

【モデル実施地域】

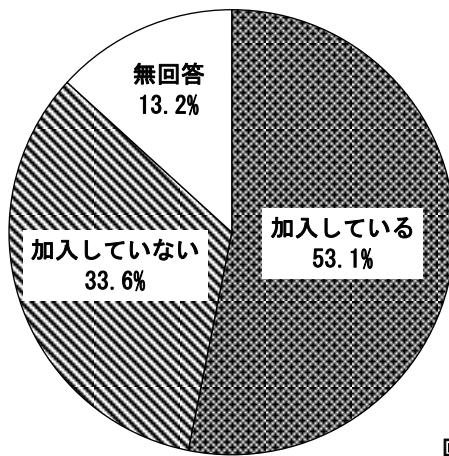


【回答者全体】

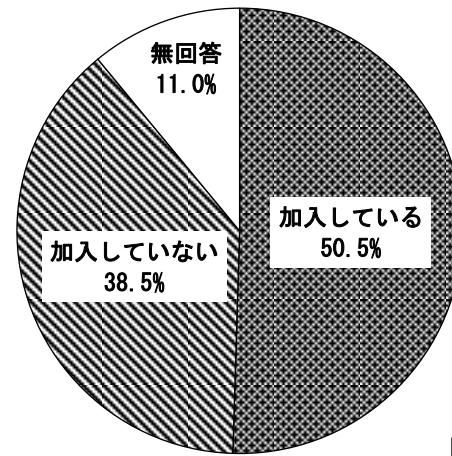


(6) 町会・自治会の加入状況

【モデル実施地域】



【回答者全体】



6 報告書の見方

- (1) 回答比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで示したもので、比率の合計が100.0%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 複数回答の設問は、すべて比率を合計すると100.0%を上回ることがあります。
- (3) 本報告書のグラフ表記について、前問の回答に応じて回答者を限定している該当設問において、回答者数が100人に満たない場合は、「年代別」や「年代層別」のグラフは割愛して、全体結果のみの表記と分析としております。
- (4) 本報告書のクロス集計(性別、性年代別、地域別、同居家族の人数別等)については、一般抽出者及びプラスチック分別回収モデル実施地域在住の区政モニターからの回答について分析しております。

第2章 調査結果の3つのポイント 及び今後の方針

《調査結果の3つのポイント》

- 1 プラスチック分別回収の開始について、モデル実施地域では96.1%が「知っている」と回答した
- 2 約9割がプラスチックを「ほぼ分別できる」(58.9%)
「ある程度分別できる」(30.8%)と回答した
- 3 5割以上が「保管スペースに困った」「分ける・洗う等の手間が増えた」ことを分別回収のデメリットに挙げた

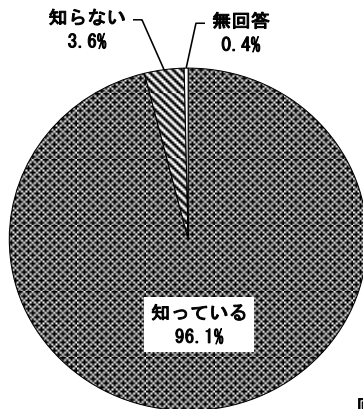
1 調査結果の3つのポイント

(1) プラスチック分別回収の開始について、モデル実施地域では96.1%が「知っている」と回答した

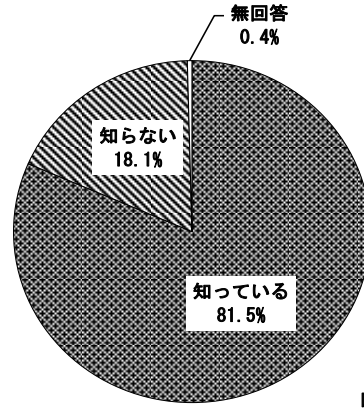
モデル実施地域では、プラスチック分別回収の開始を「知っている」が96.1%「知らない」が3.6%であった。40代以下の男性では「知らない」と回答した割合が比較的高かった。モデル実施前の令和5年度に行った調査では「知らない」が66.3%であったことから、分別回収の認知度は大きく向上したと考えられる。

【プラスチック分別回収のモデル実施の認知度】

【モデル実施地域】

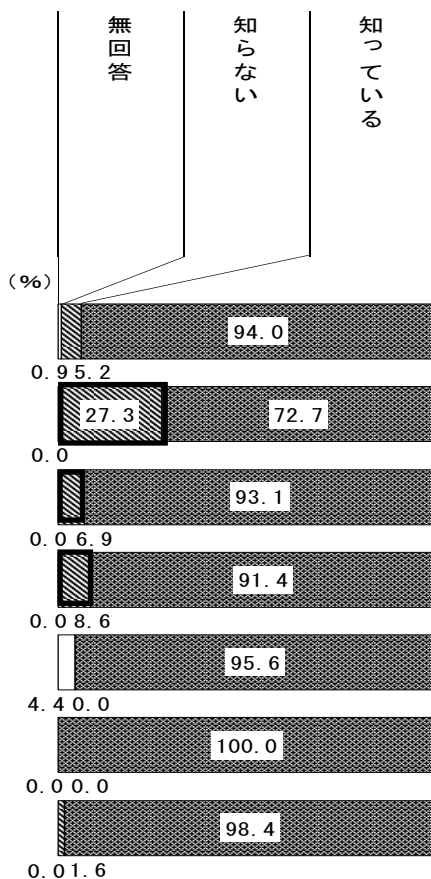


【回答者全体】

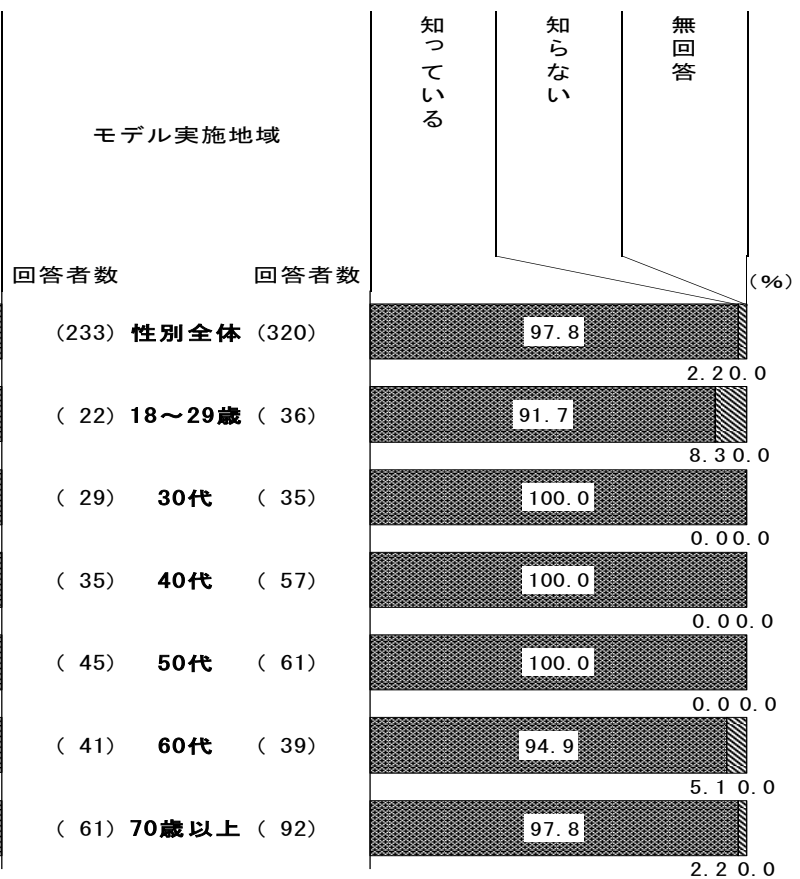


【性別・性年代別／プラスチック分別回収のモデル実施の認知度】

【男性】

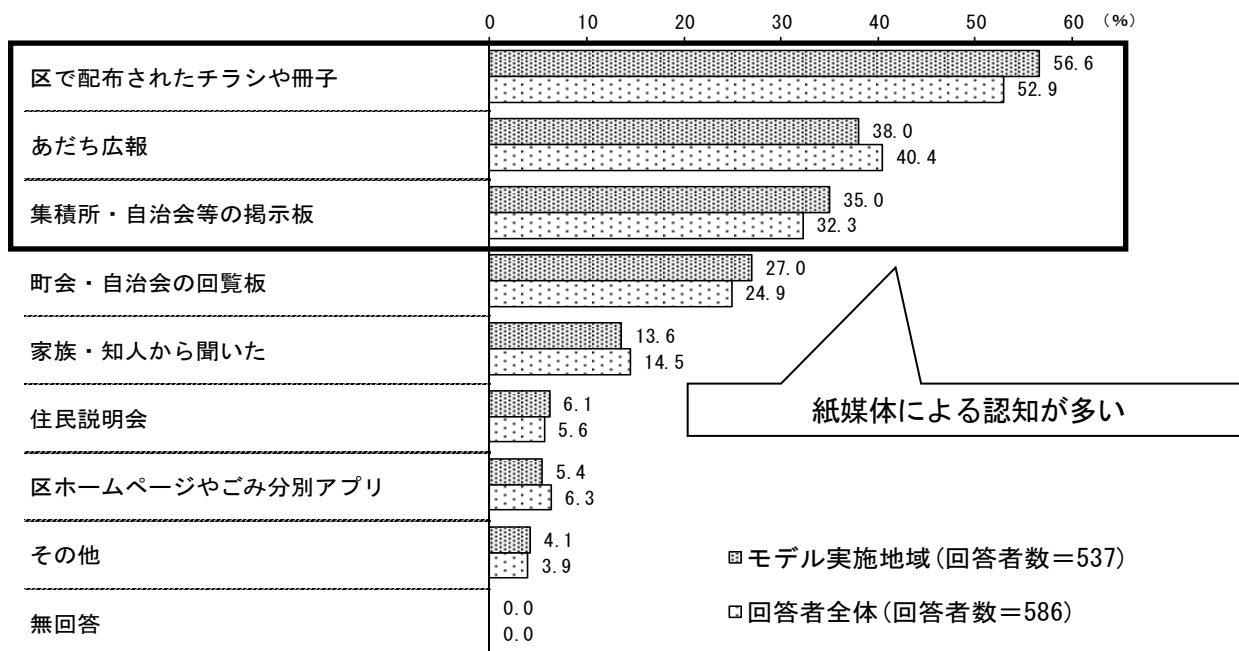


【女性】



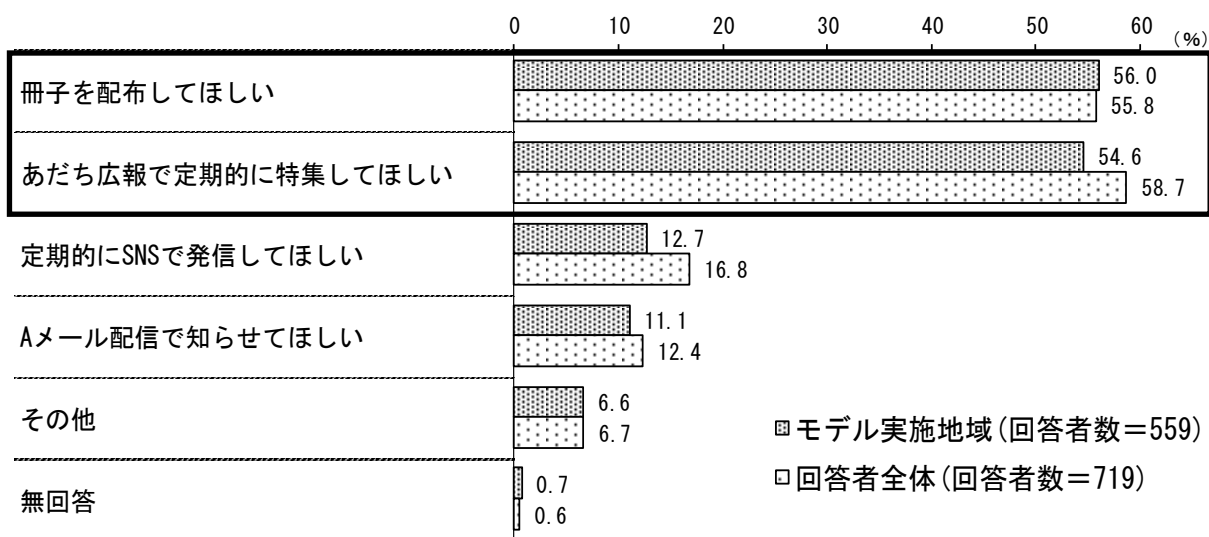
プラスチック分別回収を行っていることを「知っている」と回答した区民に、知ったきっかけを聞いたところ、モデル実施地域の回答では「区で配布されたチラシや冊子」が56.6%と最も高く、「あだち広報」(38.0%)、「集積所・自治会等の掲示板」(35.0%)の順となった。

【プラスチック分別回収のモデル実施を知ったきっかけ】



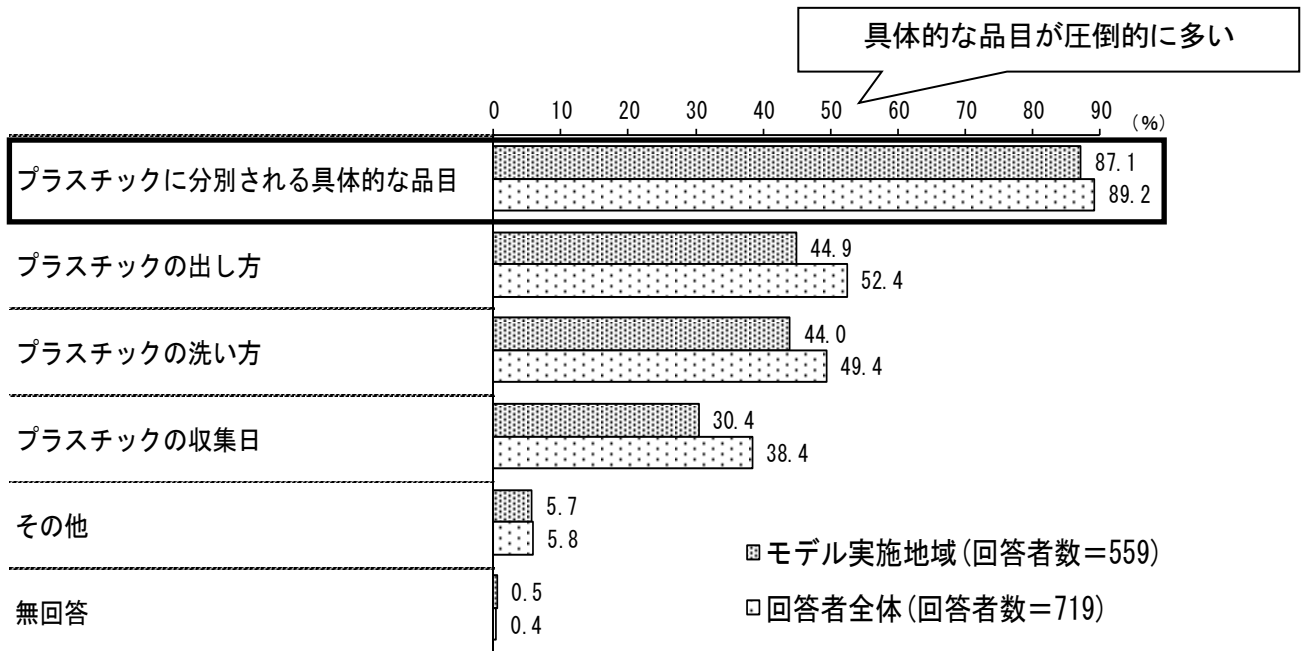
ごみの収集日や分別方法等の情報の周知方法は、モデル実施地域の回答では「冊子を配布してほしい」が56.0%と最も高く、次いで「あだち広報で定期的に特集してほしい」が54.6%となっている。

【ごみの収集日や分別方法などの周知方法】



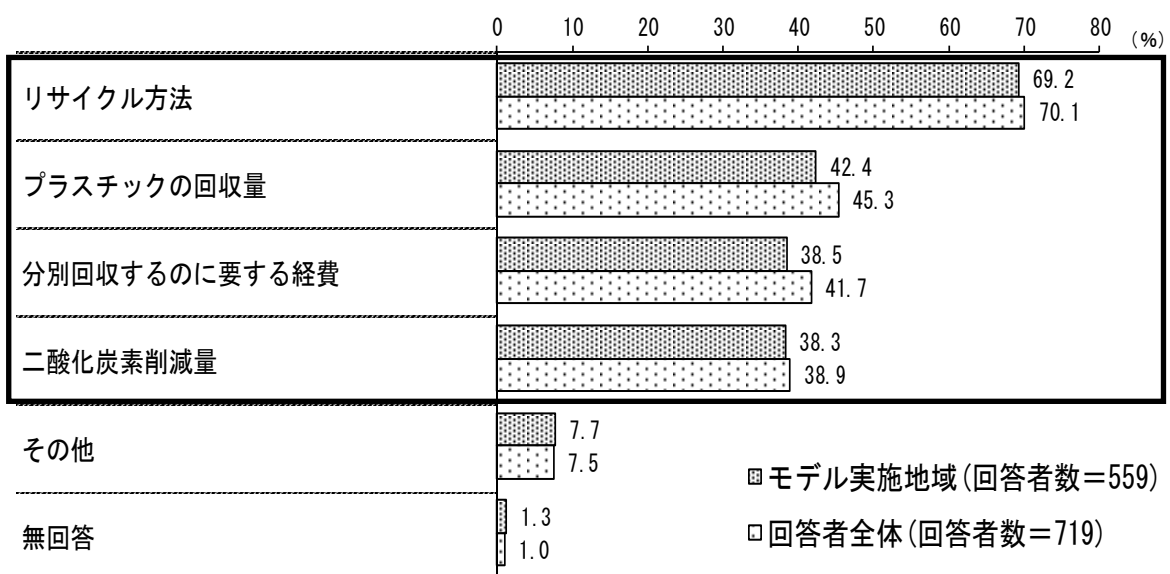
「お知らせには、どのような内容が記載されていると分かりやすいですか」と聞いたところ、モデル実施地域の回答では「プラスチックに分別される具体的な品目」が87.1%と最も高く、次いで「プラスチックの出し方」(44.9%)、「プラスチックの洗いや方」(44.0%)の順となった。

【プラスチック分別回収についての情報発信の内容】



「分別方法等のほかにどのような情報を知らせてほしいですか」と聞いたところ、モデル実施地域の回答では「リサイクル方法」が69.2%と最も高く、次いで「プラスチックの回収量」(42.4%)、「分別回収するのに要する経費」(38.5%)、「二酸化炭素削減量」(38.3%)の順となった。

【分別方法等のほかに知らせてほしい情報】

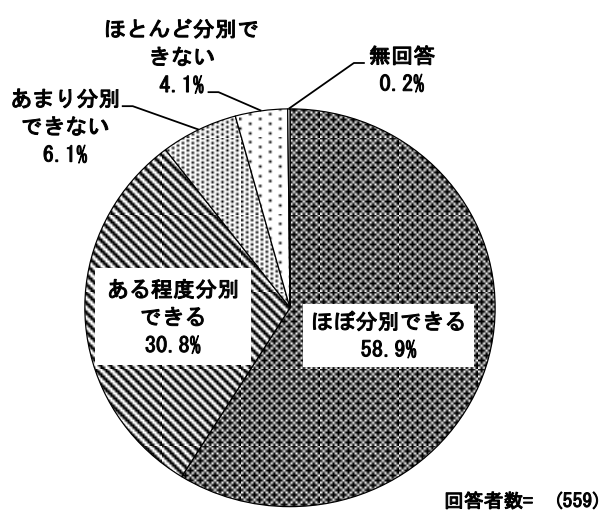


(2) 約9割がプラスチックを「ほぼ分別できる」(58.9%)「ある程度分別できる」(30.8%)と回答した

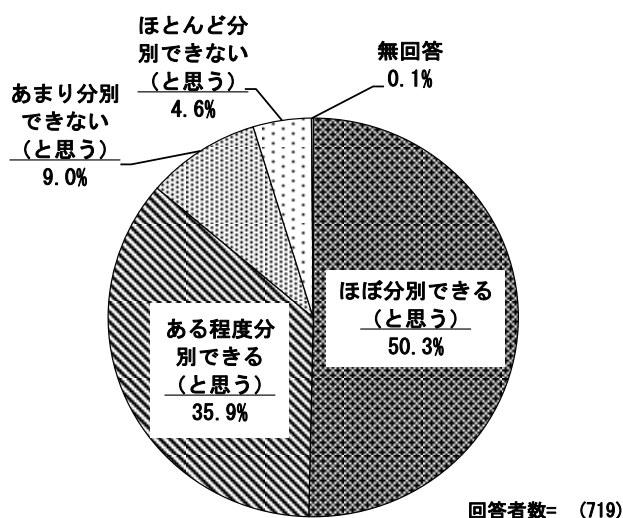
「プラスチック分別はどれくらいできていますか」と聞いたところ、モデル実施地域の回答では「ほぼ分別できる」が58.9%と最も高く、次いで「ある程度分別できる」(30.8%)となった。一方、「あまり分別できない」(6.1%)、「ほとんど分別できない」(4.1%)は全体の約10%にとどまった。令和5年度の調査では、「ある程度分別できると思う」が57.7%と最も高く、次いで「ほぼ分別できると思う」が28.4%であったことから、周知が図られ分別方法が定着してきたことが伺えた。

【プラスチックを分別できる（と思う）程度】

【モデル実施地域】



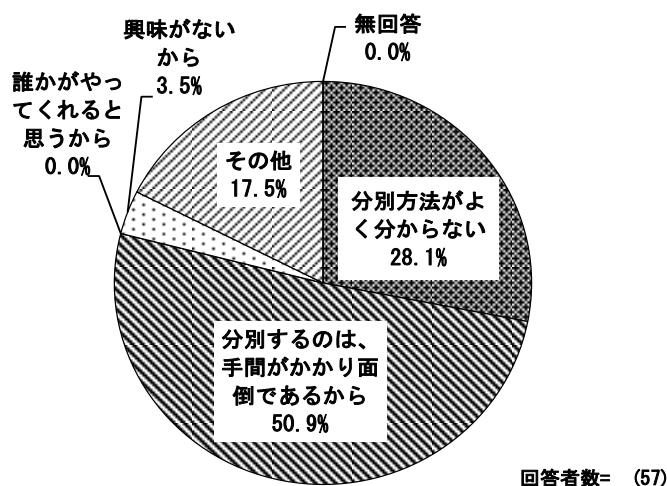
【回答者全体】



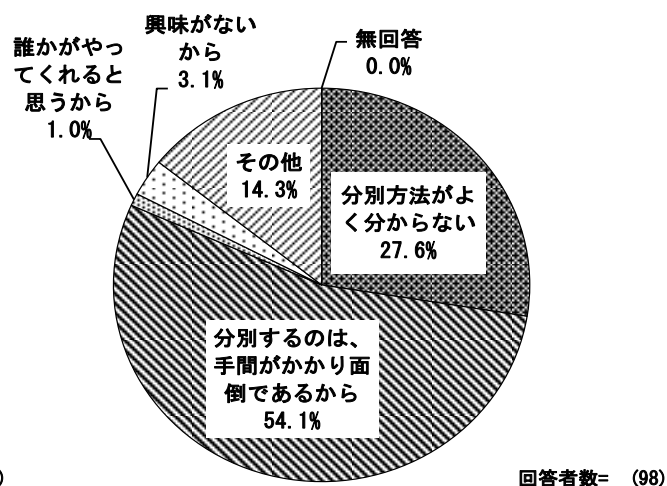
「あまり分別できない」「ほとんど分別できない」理由として、モデル実施地域の回答では「分別するのは、手間がかかり面倒であるから」が50.9%と最も高く、次いで「分別方法がよく分からない」(28.1%)となった。

【プラスチックを分別できない（と思う）理由】

【モデル実施地域】



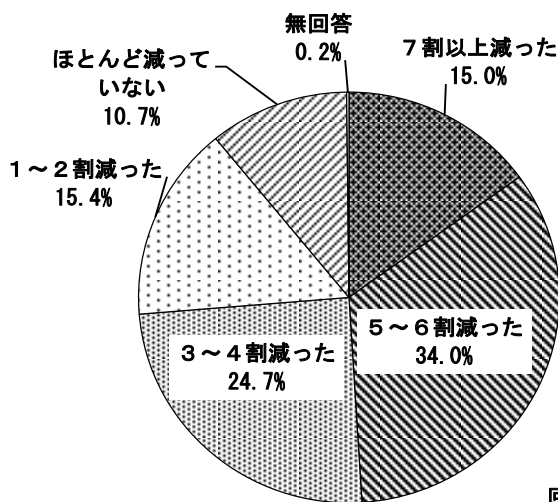
【回答者全体】



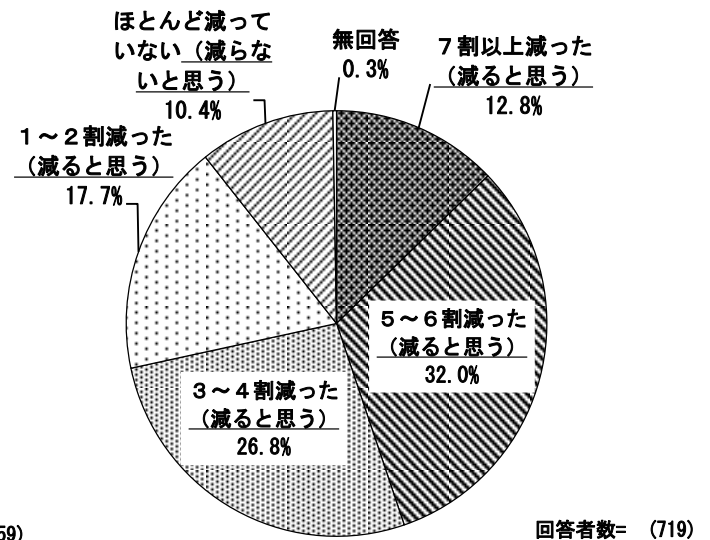
「プラスチックを分別したことで燃やすごみの割合（容積）はどれくらい減ったと感じますか」（減ると思うか）と聞いたところ、モデル実施地域とその他の地域を含めた回答者全体の構成はほぼ同じで、「5～6割減った（減ると思う）」（モデル実施地域 34.0%、回答者全体 32.0%）が最も高く、次いで「3～4割減った（減ると思う）」（モデル実施地域 24.7%、回答者全体 26.8%）となった。5割以上減ったとの回答が約半数を占めていることから、分別による燃やすごみの減量効果が伺えた。

【減ったと感じる（減ると思う）燃やすごみの量】

【モデル実施地域】



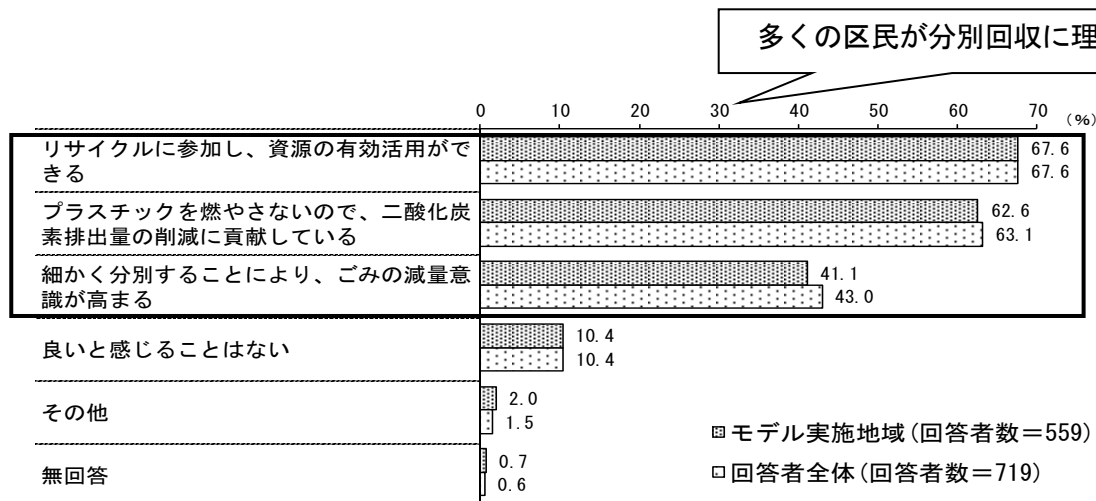
【回答者全体】



(3) 5割以上が「保管スペースに困った」「分ける・洗う等の手間が増えた」ことを分別回収のデメリットに挙げた

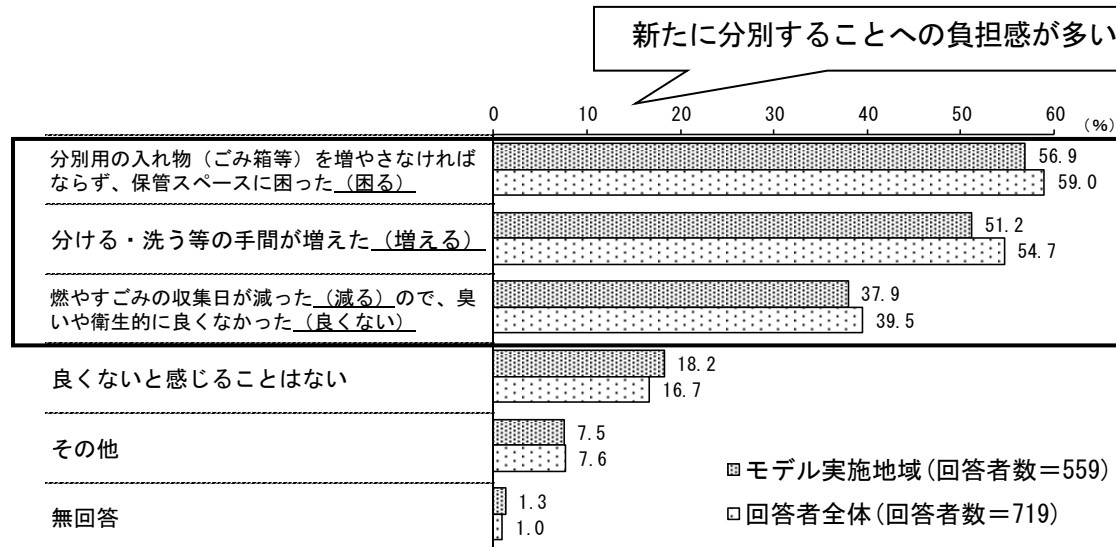
「あなたがプラスチックを分別回収することについて、良いと思う事柄を選んでください」と聞いたところ、モデル実施地域の回答では「リサイクルに参加し、資源の有効活用ができる」(67.6%)、「プラスチックを燃やさないので、二酸化炭素排出量の削減に貢献している」(62.6%)、「細かく分別することにより、ごみの減量意識が高まる」(41.1%)の順に割合が大きかった。

【プラスチックを分別回収することについて、良いと思う事柄】



「あなたがプラスチックを分別回収することについて、良くないと思う事柄を選んでください」と聞いたところ、モデル実施地域の回答では「分別用の入れ物(ゴミ箱等)を増やさなければならず、保管スペースに困った」(56.9%)、「分ける・洗う等の手間が増えた」(51.2%)、「燃やすごみの収集日が減ったので、臭いや衛生的に良くなかった」(37.9%)の順に割合が大きかった。令和5年度に行った調査と比較すると、「保管スペースが確保できない」(令和5年度は37.3%)が大きく割合を増やし、「分ける・洗う等の手間が増える」(令和5年度は52.8%)を上回った。

【プラスチックを分別回収することについて、良くないと思う事柄】



2 分別回収を全区内で行うに当たっての今後の方針

(1) 「プラスチック分別ができる」ようにするための情報発信

現状	
① プラスチック分別回収のモデル実施の認知度は、96.1%が「知っている」と回答した。40代以下の男性では「知らない」と回答した割合が比較的高かった。 (以下、19ページまで割合はいずれもモデル実施地域の回答による)。 ② プラスチックをどれくらい分別できているか聴いたところ、「ほぼ分別できる」が58.9%と最も高く、次いで「ある程度分別できる」(30.8%)となった。一方、「あまり分別できない」(6.1%)、「ほとんど分別できない」(4.1%)は全体の約10%にとどまった。 ③ プラスチック分別回収を行っていることを「知っている」と回答した区民に、知ったきっかけを聴いたところ、「区で配布されたチラシや冊子」が56.6%と最も高く、「あだち広報」(38.0%)、「集積所・自治会等の掲示板」(35.0%)の順となった。 ④ ごみの収集日や分別方法等の情報の周知方法は、「冊子を配布してほしい」(56.0%)、「あだち広報で定期的に特集してほしい」(54.6%)の順となった。 ⑤ プラスチック分別回収について情報発信してほしい内容は、「プラスチックに分別される具体的な品目」が87.1%と最も高く、次いで「プラスチックの出し方」(44.9%)、「プラスチックの洗い方」(44.0%)の順となった。	
課題	今後の取り組み
① 若年層(40代以下)の男性の認知度が低い。	① 若年層が集まる駅周辺地域や区施設においてポスター掲示を行う(あだちスマイルビジョンやデジタルサイネージ、駅構内等の民間施設掲示板等の利用を検討)。 ② 若年層は、SNSで必要な情報を得ることが多いため、定期的にSNSで情報発信を行う。 ③ オンライン申請システムを利用し、「プラ分別クイズ」に回答すると抽選で景品(クオカードなど)がもらえるイベントを実施する。このイベントをSNS等で発信するとともに、チラシ・ポスターにQRコードを掲載する。
② プラスチックに分別できるものの、できないものの、プラスチックを排出するときの注意点を、分かりやすく説明することが求	① 住民説明会の質疑応答の時間においては、分別に迷う製品の実物を提示して説明する。 ② プラスチックに分別される具体的な品目、プラスチックの洗い方・出し方を発信する。 ③ あだち広報の記事、全戸配布する分別冊子・チラシ、住民説明会の資料等は、モデル実施における検証を踏まえ、質問の多い項目などは、具体的な品目ごとの分別の仕方を掲載したわかりやすい表現に変更する。特に、どの程度汚

められている。	れを落とせばよいのかなどの、個々の判断によることが多いプラスチック製品などの取扱いについては、動画を活用し判断基準を簡潔丁寧に説明する。 ④ 住民説明会で質問をいただいた「ごみ・資源の正しい排出ができない外国籍の住民への対応」などについては、外国語表記の分別方法冊子や、区ホームページ、足立区ごみ分別アプリを活用した周知を行う。また、改善が見受けられない場合は、直接排出指導を行い改善する。
---------	---

（2）分別はできるが「手間がかかり面倒」な方への情報発信

現状	
① 「あまり分別できない」「ほとんど分別できない」理由として、「分別するのは、手間がかかり面倒であるから」が50.9%と最も高く、次いで「分別方法がよく分からない」(28.1%)の順となった。 ② プラスチックの分別によって、燃やすごみの割合(容積)はどれくらい減ったと感じるか聴いたところ、「5～6割減った」(34.0%)が最も高く、次いで「3～4割減った」(24.7%)となっており、分別による燃やすごみの減量効果が伺えた。 ③ 分別方法等のほかに知らせしてほしい情報は、「リサイクル方法」が69.2%と最も高く、次いで「プラスチックの回収量」(42.4%)、「分別回収するのに要する経費」(38.5%)、「二酸化炭素削減量」(38.3%)の順となった。	
課題	今後の取り組み
プラスチックをリサイクルすることによりCO ₂ 削減が進み、環境問題への解決に繋がることを丁寧に説明し、区民の理解を促進していく必要がある。	① モデル実施の住民説明会で使用した「プラスチックリサイクルの事業展開や意義」を説明するパワーポイント映像を、全区展開の内容へ変更するとともに、わかりやすく説得力のある表現の動画に作り変え、住民説明会で上映する。 ② 区民のリサイクル意識を促進するため、モデル実施におけるリサイクル量やCO₂削減量など「見える成果」をあだち広報や区ホームページで公表する。

（3）分別に伴う「不満・不便」に向けた対応

現状
① プラスチックを分別回収することについて、良いと思う事柄として、「リサイクルに参加し、資源の有効活用ができる」(67.6%)、「プラスチックを燃やさない」ので、二酸化炭素排出量の削減に貢献している」(62.6%)、「細かく分別することにより、ごみの減量意識が高まる」(41.1%)が選ばれた。

- ② プラスチックを分別回収することについて、良くないと思う事柄は、「分別用の入れ物（ゴミ箱等）を増やさなければならず、保管スペースに困った」（56.9%）、「分ける・洗う等の手間が増えた」（51.2%）、「燃やすごみの収集日が減ったので、臭いや衛生的に良くなかった」（37.9%）が挙げられている。

課題	今後の取り組み
プラスチック分別回収のモデル実施について理解は得られているものの、家庭内での保管方法や臭い等の対策について周知する必要がある。	① 特にプラスチックの保管方法や生ごみ、紙おむつ等の臭い対策については区ホームページ等に、生ごみ処理機・コンポスト化容器購入費補助金のご案内や、生ごみ、紙おむつの臭い対策を掲載する。 ② 住民説明会は、区民の不満や不安を受け止める機会として質疑応答の時間を十分に設け、理解と協力をいただく。またその内容をQ&A一覧として次の住民説明会で資料として配布し、区ホームページにも掲出する。

第3章 調査結果の詳細

設問体系と回答の概要

回答の構成比はモデル実施地域の数値となります。

- 1 ごみを出している場所** P25
 - (1) 「マンション・アパート専用のごみ集積所」 55.5% (回答者全体：55.9%)
 - (2) 「地域のごみ集積所」 42.2% (回答者全体：41.2%)
- 2 プラスチック分別回収のモデル実施の認知度** P27
 - (1) 「知っている」 96.1% (回答者全体：81.5%)
 - (2) 「知らない」 3.6% (回答者全体：18.1%)
- 3 プラスチック分別回収のモデル実施を知ったきっかけ** P30
 - (1) 「区で配布されたチラシや冊子」 56.6% (回答者全体：52.9%)
 - (2) 「あだち広報」 38.0% (回答者全体：40.4%)
- 4 プラスチックを分別できる（と思う）程度** P31
 - (1) 「ほぼ分別できる（と思う）」 58.9% (回答者全体：50.3%)
 - (2) 「ある程度分別できる（と思う）」 30.8% (回答者全体：35.9%)
- 5 プラスチックを分別できない（と思う）理由** P33
 - (1) 「分別するのは、手間がかかり面倒であるから」 50.9% (回答者全体：54.1%)
 - (2) 「分別方法がよく分からない」 28.1% (回答者全体：27.6%)
- 6 中身や汚れが残っているプラスチックの処分方法** P34
 - (1) 「軽く洗って見た目で汚れが落ちている状態で『プラスチックの日』に出した（出すと思う）」
58.7% (回答者全体：58.0%)
 - (2) 「丁寧に洗ってきれいにした状態で『プラスチックの日』に出した（出すと思う）」
21.6% (回答者全体：20.6%)
- 7 減ったと感じる（減ると思う）燃やすごみの量** P35
 - (1) 「5～6割減った（減ると思う）」 34.0% (回答者全体：32.0%)
 - (2) 「3～4割減った（減ると思う）」 24.7% (回答者全体：26.8%)
- 8 ごみの収集日や分別方法などの周知方法** P36
 - (1) 「冊子を配布してほしい」 56.0% (回答者全体：55.8%)
 - (2) 「あだち広報で定期的に特集してほしい」 54.6% (回答者全体：58.7%)
- 9 プラスチック分別回収についての情報発信の内容** P38
 - (1) 「プラスチックに分別される具体的な品目」 87.1% (回答者全体：89.2%)
 - (2) 「プラスチックの出し方」 44.9% (回答者全体：52.4%)

- 10 分別方法等のほかに知らせてほしい情報** P41
- (1) 「リサイクル方法」 69.2% (回答者全体 : 70.1%)
- (2) 「プラスチックの回収量」 42.4% (回答者全体 : 45.3%)
- 11 プラスチックを分別回収することについて、良いと思う事柄** P44
- (1) 「リサイクルに参加し、資源の有効活用ができる」 67.6% (回答者全体 : 67.6%)
- (2) 「プラスチックを燃やさないので、二酸化炭素排出量の削減に貢献している」 62.6%
(回答者全体 : 63.1%)
- 12 プラスチックを分別回収することについて、良くないと思う事柄** P45
- (1) 「分別用の入れ物 (ごみ箱等) を増やさなければならず、保管スペースに困った (困る)」
56.9% (回答者全体 : 59.0%)
- (2) 「分ける・洗う等の手間が増えた (増える)」 51.2% (回答者全体 : 54.7%)
- 13 分別ルールを徹底するために必要だと思う対策** P46
- (1) 「ごみ集積所に、ごみの出し方を説明した掲示板を置く」 59.4% (回答者全体 : 61.5%)
- (2) 「分別方法を詳しく記載した冊子を配布する」 54.0% (回答者全体 : 55.6%)
- 14 アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え** P47
- (1) 「どちらかといえばそう思う」 40.8% (回答者全体 : 41.0%)
- (2) 「そう思う」 39.4% (回答者全体 : 42.1%)

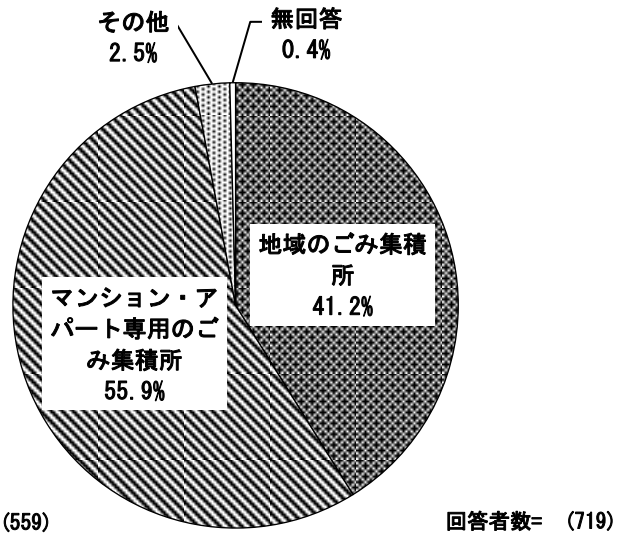
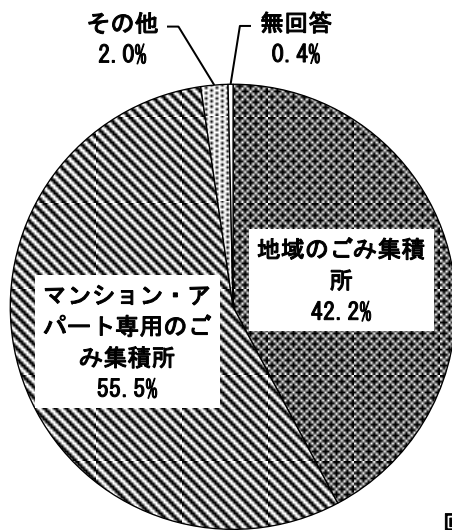
1 ごみを出している場所

(1) 単純集計

問1 あなたは、普段ごみを出す際、どこに出していますか（○は1つだけ）。

【モデル実施地域】

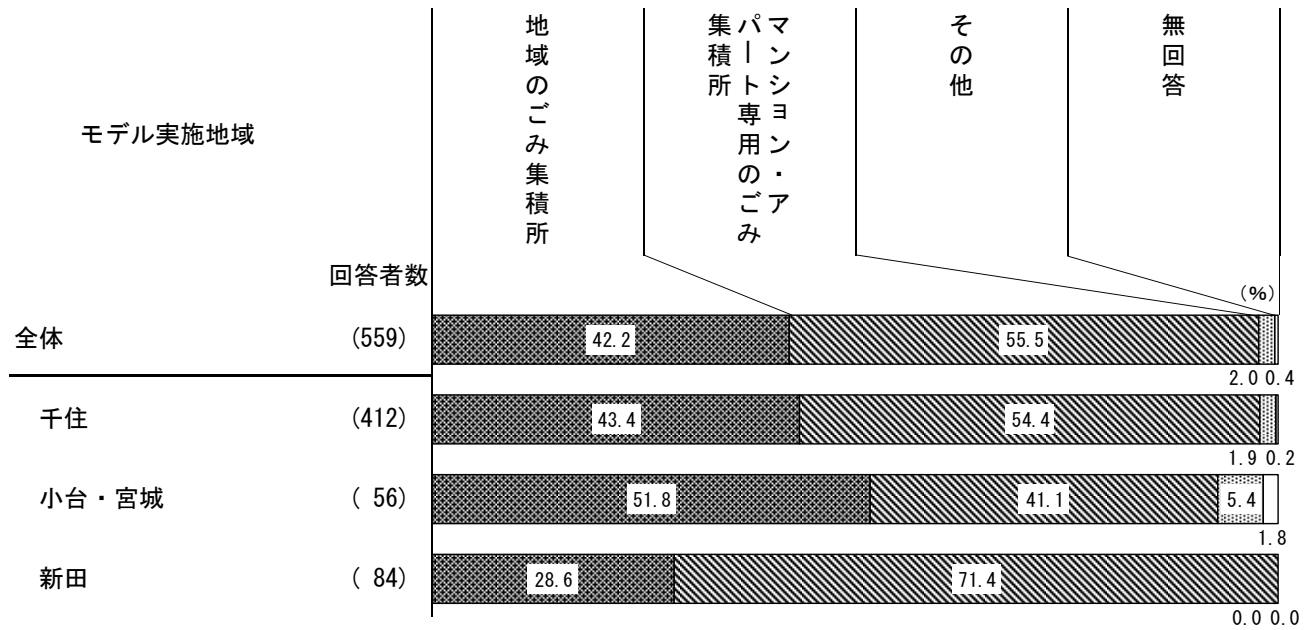
【回答者全体】



ごみを出している場所は、モデル実施地域の回答では「マンション・アパート専用のごみ集積所」が55.5%で、「地域のごみ集積所」は42.2%となっています。

その他の地域を含めた回答者全体の回答では「マンション・アパート専用のごみ集積所」が55.9%で、「地域のごみ集積所」は41.2%となっています。

(2) クロス集計・地域別／ごみを出している場所



ごみを出している場所をモデル実施地域の地域別にみると、「マンション・アパート専用のごみ集積所」は新田地域（71.4%）で高くなっています。

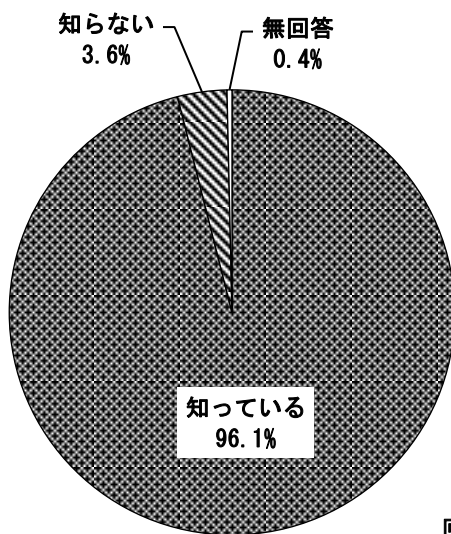
2 プラスチック分別回収のモデル実施の認知度

(1) 単純集計

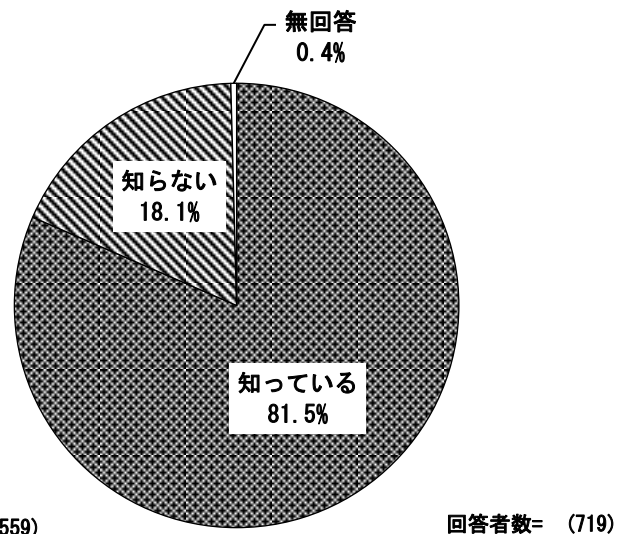
問2 あなたは、お住まいの地域でプラスチックを分別回収していることを知っていますか（○は1つだけ）。

※区政モニターへの設問には、下線部分を「千住・小台・宮城・新田の4地域」と記載した

【モデル実施地域】



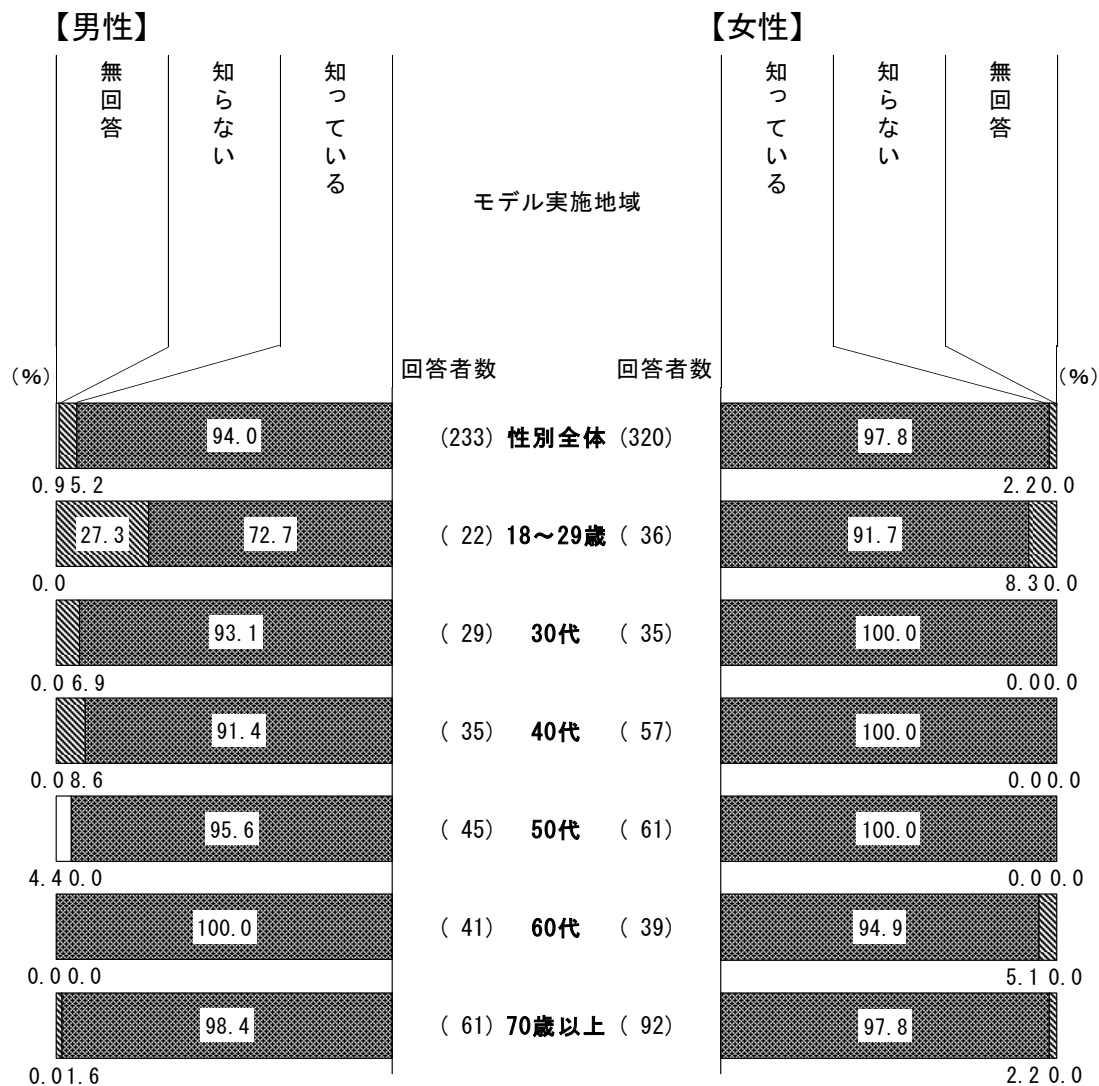
【回答者全体】



プラスチック分別回収のモデル実施を行っていることの認知度は、モデル実施地域の回答では「知っている」が96.1%で、「知らない」は3.6%となっています。

その他の地域を含めた回答者全体の回答では「知っている」が81.5%で、「知らない」は18.1%となっています。

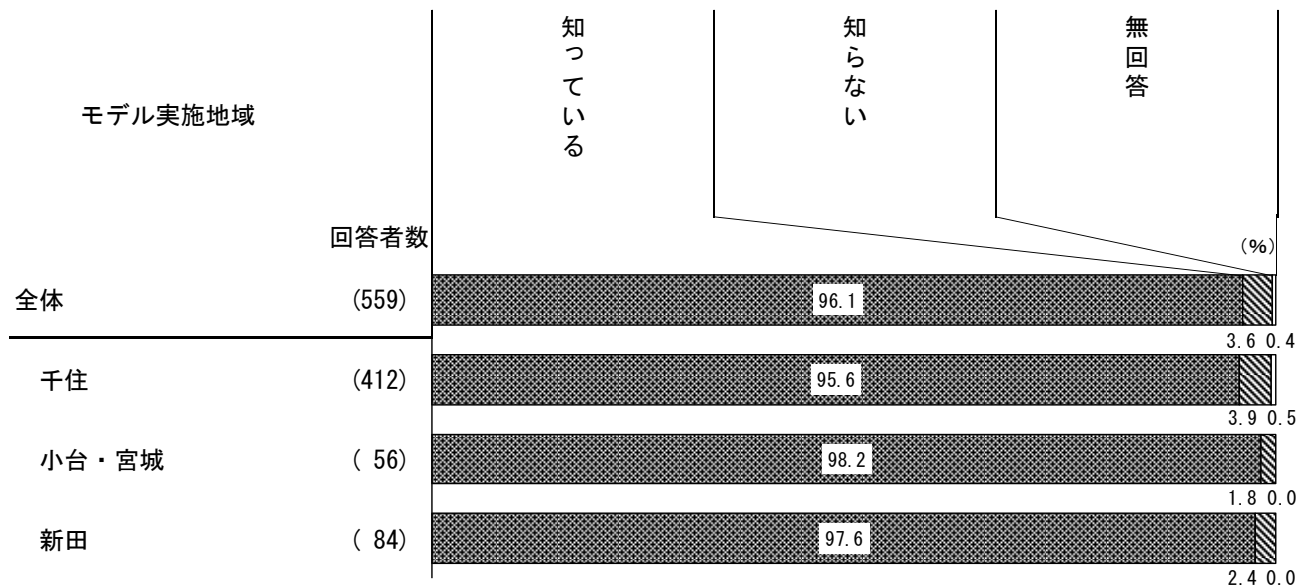
(2) クロス集計・性別・性年代別／プラスチック分別回収のモデル実施の認知度



プラスチック分別回収のモデル実施を行っていることの認知度を性別にみると、「知っている」は女性（97.8%）の方が男性（94.0%）より3.8ポイント高くなっています。

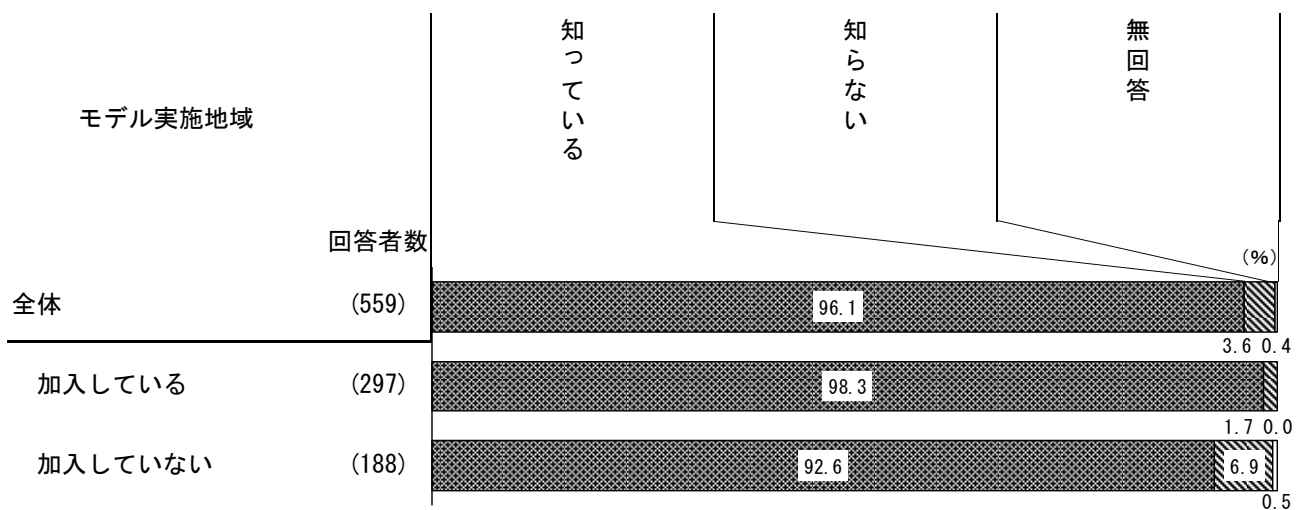
いくつかの年代で回答者数が30を下回っているため、あくまで参考値にとどめる必要がありますが、性年代別にみると、「知っている」は女性の18～29歳（91.7%）で低くなっています。

(3) クロス集計・地域別／プラスチック分別回収のモデル実施の認知度



プラスチック分別回収のモデル実施を行っていることの認知度をモデル実施地域の地域別にみると、「知っている」は小台・宮城地域（98.2%）で高くなっています。

(4) クロス集計・町会、自治会の加入状況別／プラスチック分別回収のモデル実施の認知度



プラスチック分別回収のモデル実施を行っていることの認知度を町会・自治会の加入状況別にみると、「知っている」は「加入している」(98.3%)の方が「加入していない」(92.6%)より5.7ポイント高くなっています。

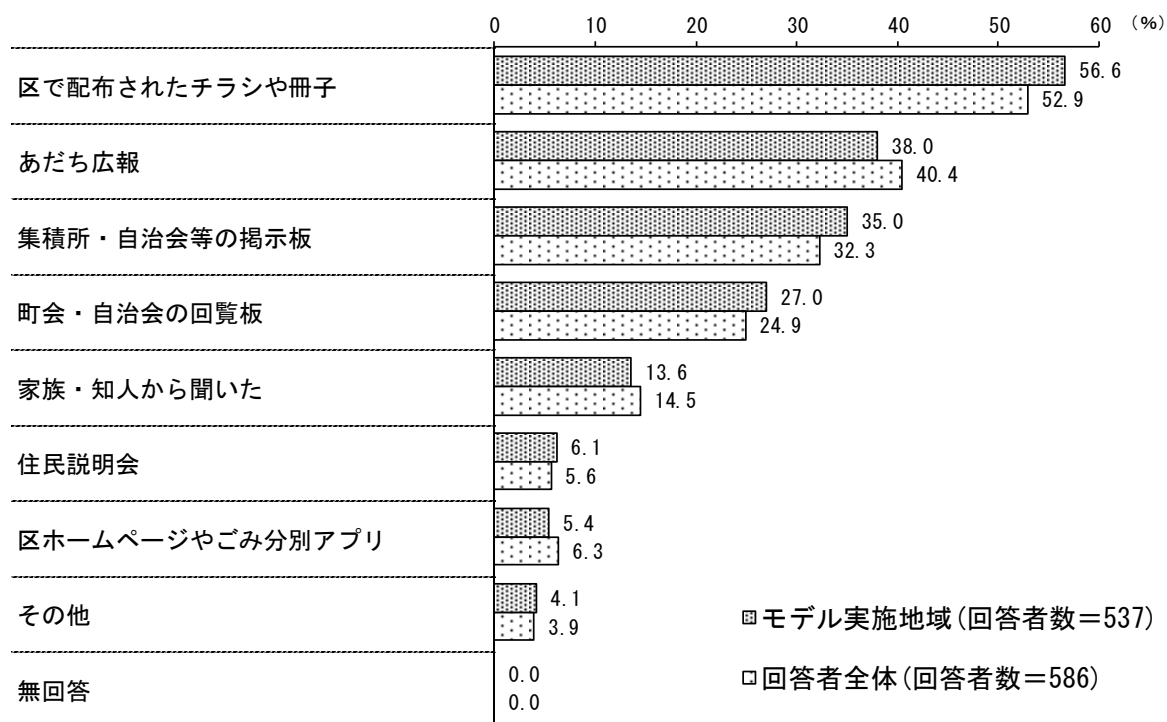
3 プラスチック分別回収のモデル実施を知ったきっかけ

(1) 単純集計

(問2で「1 知っている」とお答えの方に)

問2-1 プラスチックを分別回収していることをどのように知りましたか

(○はあてはまるものすべて)。



プラスチック分別回収のモデル実施を行っていることを“知っている”とお答えの方に、知ったきっかけを聞いたところ、モデル実施地域の回答では「区で配布されたチラシや冊子」が56.6%で最も高く、次いで「あだち広報」(38.0%)、「集積所・自治会等の掲示板」(35.0%)、「町会・自治会の回覧板」(27.0%)などとなっています。

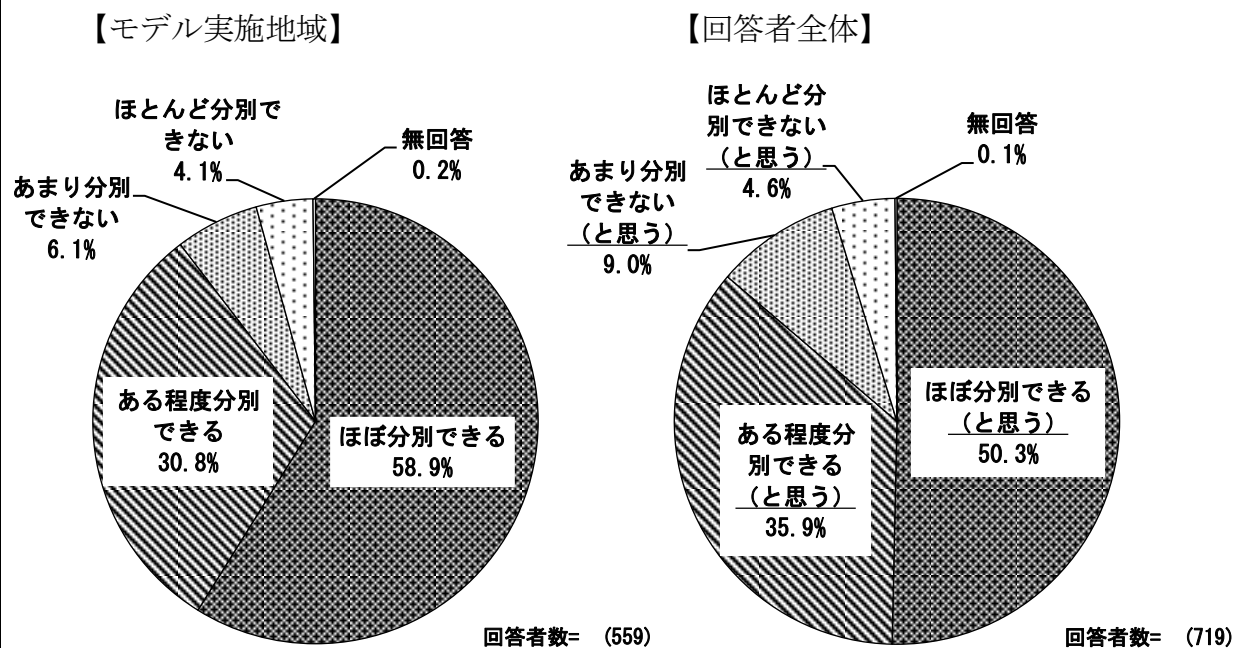
その他の地域を含めた回答者全体の回答でも順位は変わらず、「区で配布されたチラシや冊子」が52.9%で最も高く、次いで「あだち広報」(40.4%)、「集積所・自治会等の掲示板」(32.3%)、「町会・自治会の回覧板」(24.9%)などとなっています。

4 プラスチックを分別できる（と思う）程度

(1) 単純集計

問3 プラスチック分別はどれくらいできていますか（分別回収していない地域にお住まいの方は、できると思うかをお答えください）（○は1つだけ）。

※区政モニターへの設問には下線部分が加えられた

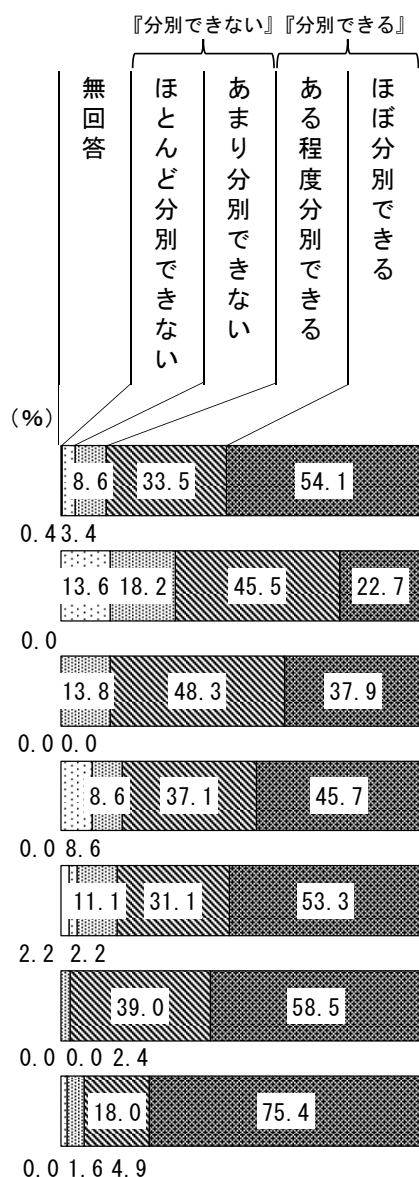


どの程度プラスチックを分別できているか聞いたところ、モデル実施地域の回答では「ほぼ分別できる」が58.9%で最も高く、次いで「ある程度分別できる」が30.8%となっています。

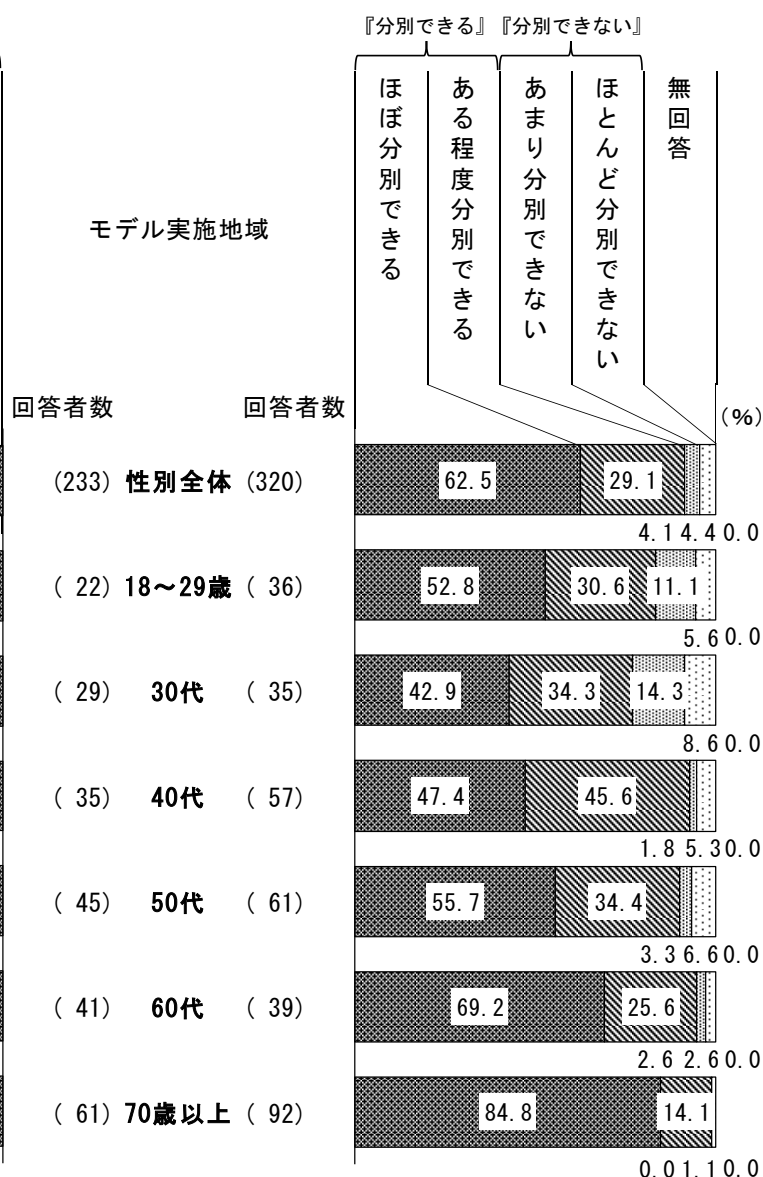
その他の地域を含めた回答者全体の回答では「ほぼ分別できる（と思う）」が50.3%で、次いで「ある程度分別できる（と思う）」が35.9%となっています。

(2) クロス集計・性別・性年代別／プラスチックを分別できる程度

【男性】



【女性】



どの程度プラスチックを分別できているかについて性別にみると、「ほぼ分別できる」は女性（62.5%）の方が男性（54.1%）より8.4ポイント高くなっています。

いくつかの年代で回答者数が30を下回っているため、あくまで参考値にとどめる必要がありますが、性年代別にみると、「ほぼ分別できる」に「ある程度分別できる」を加えた『分別できる』は男性では60代（97.5%）、女性では70歳以上（98.9%）でそれぞれ高くなっています。

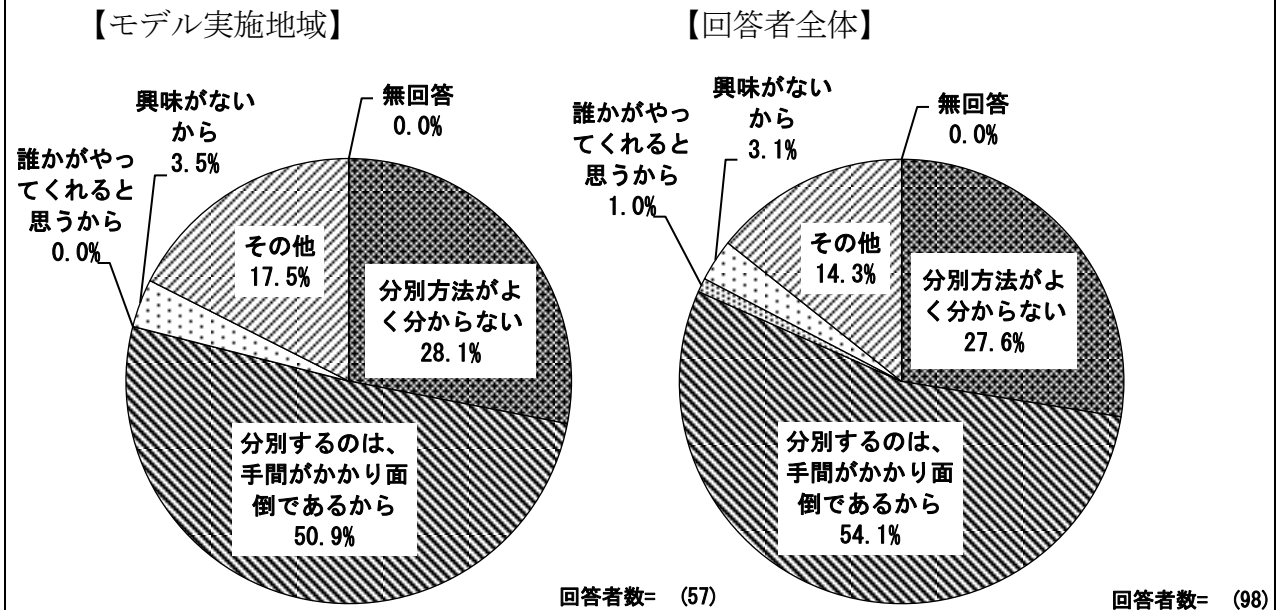
5 プラスチックを分別できない（と思う）理由

(1) 単純集計

(問3で「3 あまり分別できない（と思う）」「4 ほとんど分別できない（と思う）」とお答えの方に)

問3-1 できない（と思う）理由は何ですか（○は1つだけ）。

※区政モニターへの設問には下線部分が加えられた



プラスチックを“あまり分別できない（と思う）”、“ほとんど分別できない（と思う）”とお答えの方に、そう思う理由を聴いたところ、モデル実施地域とその他の地域を含めた回答者全体の構成はほぼ同じで、「分別するのは、手間がかかり面倒であるから」（モデル実施地域 50.9%、回答者全体 54.1%）が最も高く、次いで「分別方法がよく分からない」（モデル実施地域 28.1%、回答者全体 27.6%）となっています。

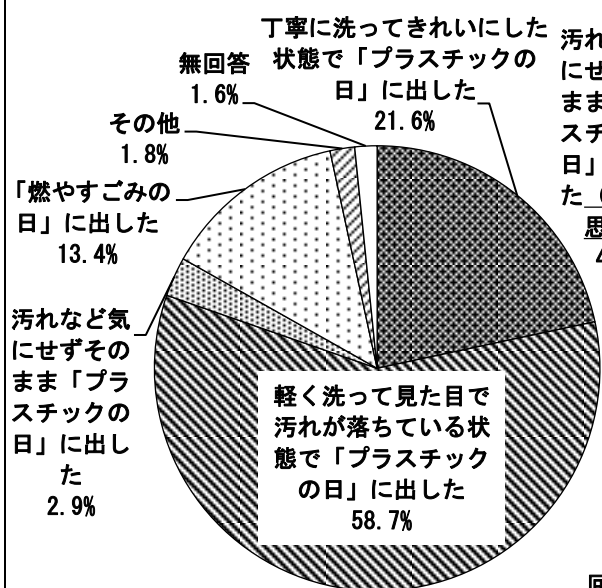
6 中身や汚れが残っているプラスチックの処分方法

(1) 単純集計

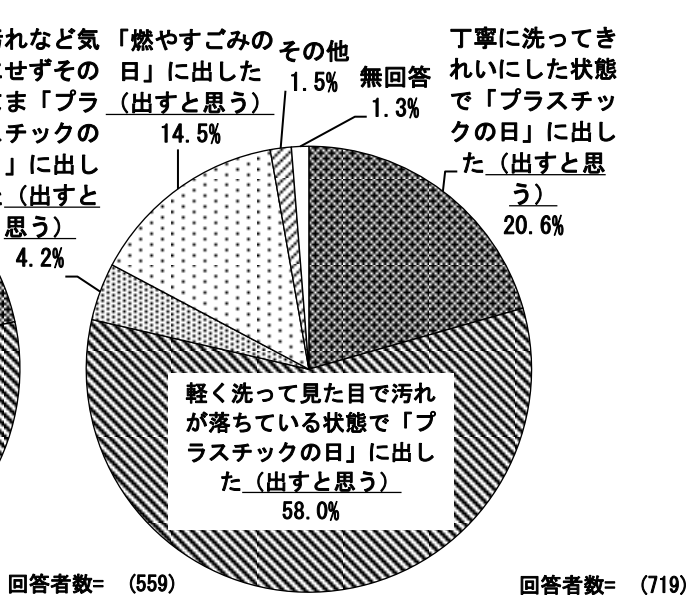
問4 プラスチックについて中身や汚れが残っていたものはどうされましたか（分別回収していない地域にお住まいの方は、どうすると思うかお答えください）（○は1つだけ）。

※区政モニターへの設問には下線部分が加えられた

【モデル実施地域】



【回答者全体】



中身や汚れが残っているプラスチックの処分方法は、モデル実施地域とその他の地域を含めた回答者全体の構成はほぼ同じで、「軽く洗って見た目で汚れが落ちている状態で『プラスチックの日』に出した（出すと思う）」（モデル実施地域 58.7%、回答者全体 58.0%）が最も高く、次いで「丁寧に洗ってきれいにした状態で『プラスチックの日』に出した（出すと思う）」（モデル実施地域 21.6%、回答者全体 20.6%）となっています。

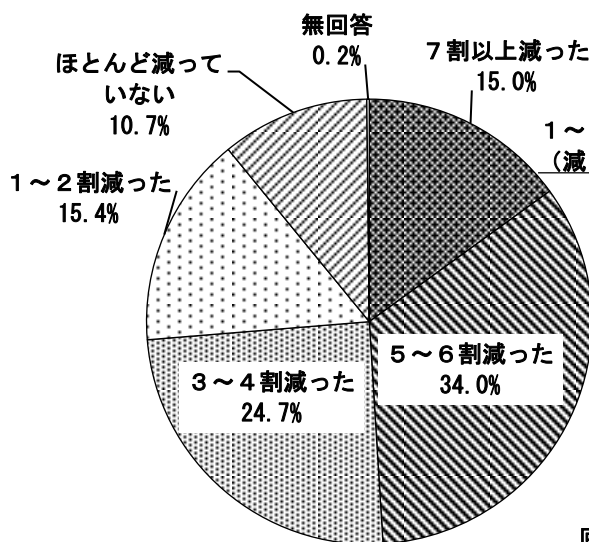
7 減ったと感じる（減ると思う）燃やすごみの量

（1）単純集計

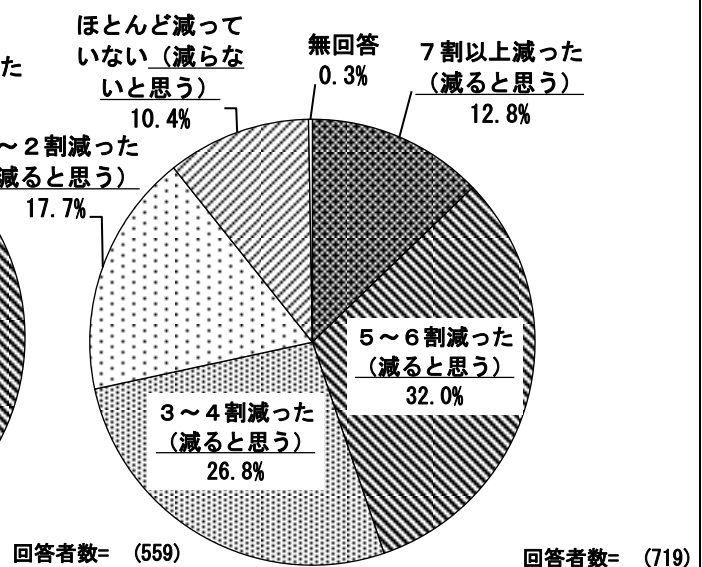
問5 プラスチックを分別したことによって燃やすごみの割合（容積）はどれくらい減ったと感じますか（分別回収していない地域にお住まいの方は、減ると思うかお答えください）（○は1つだけ）。

※区政モニターへの設問には下線部分が加えられた

【モデル実施地域】



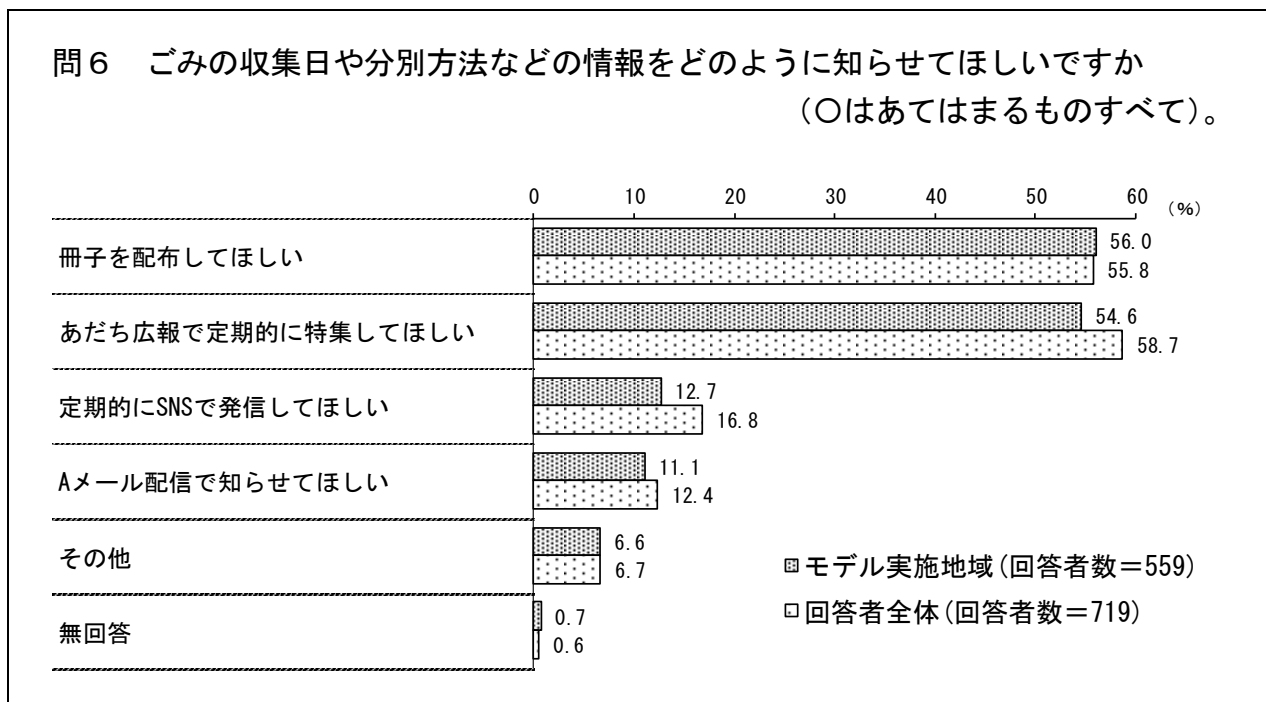
【回答者全体】



プラスチックの分別回収によって、燃やすごみの割合（容積）はどれくらい減ったと感じる（減ると思う）か聞いたところ、モデル実施地域とその他の地域を含めた回答者全体の構成はほぼ同じで、「5～6割減った（減ると思う）」（モデル実施地域 34.0%、回答者全体 32.0%）が最も高く、次いで「3～4割減った（減ると思う）」（モデル実施地域 24.7%、回答者全体 26.8%）、「1～2割減った（減ると思う）」（モデル実施地域 15.4%、回答者全体 17.7%）となっています。

8 ごみの収集日や分別方法などの周知方法

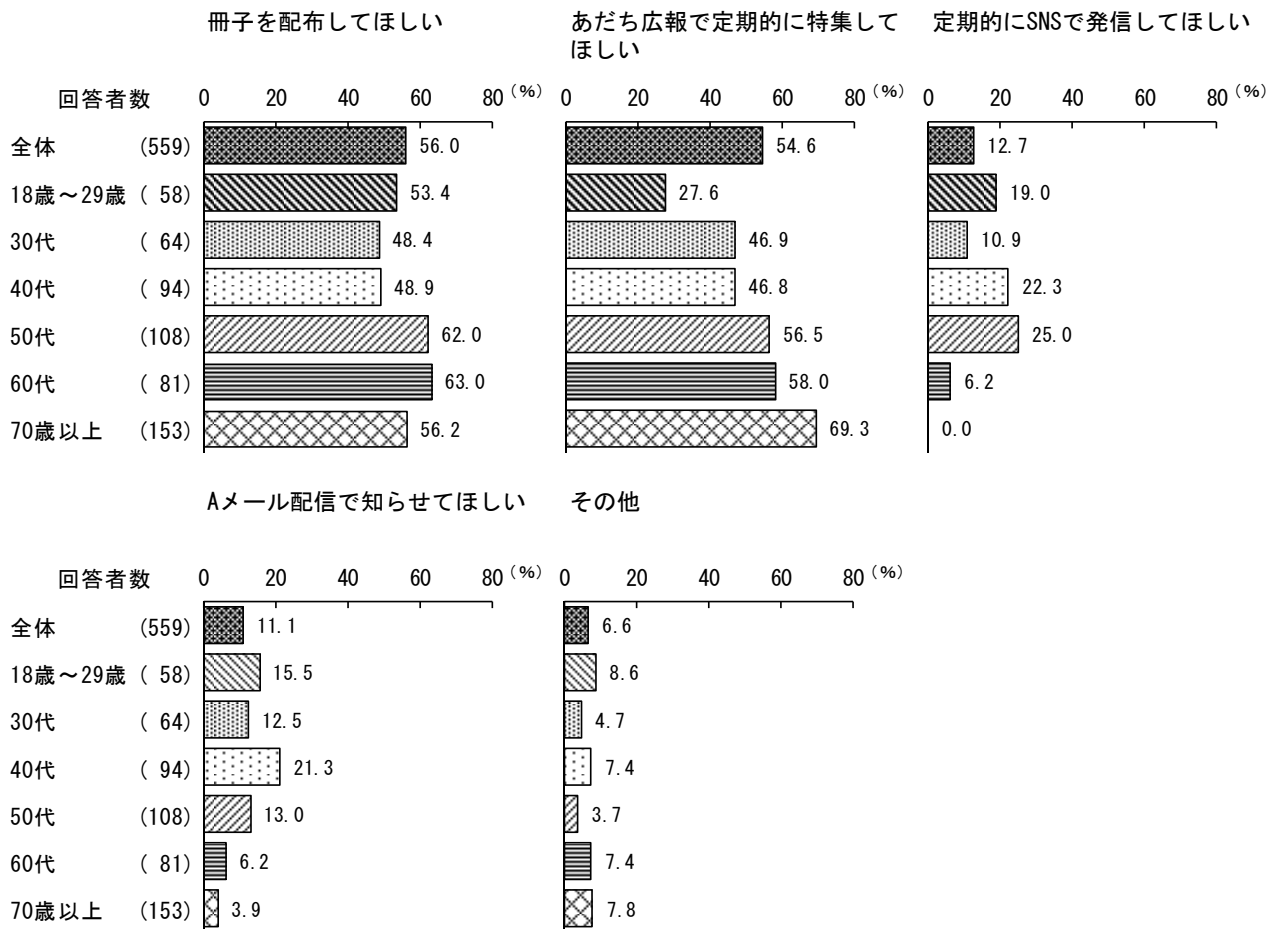
(1) 単純集計



ごみの収集日や分別方法などの周知方法は、モデル実施地域の回答では「冊子を配布してほしい」が56.0%で最も高く、次いで「あだち広報で定期的に特集してほしい」が54.6%となっています。

その他の地域を含めた回答者全体の回答では「あだち広報で定期的に特集してほしい」が58.7%で最も高く、次いで「冊子を配布してほしい」が55.8%となっています。

(2) クロス集計・年代別／ごみの収集日や分別方法などの周知方法

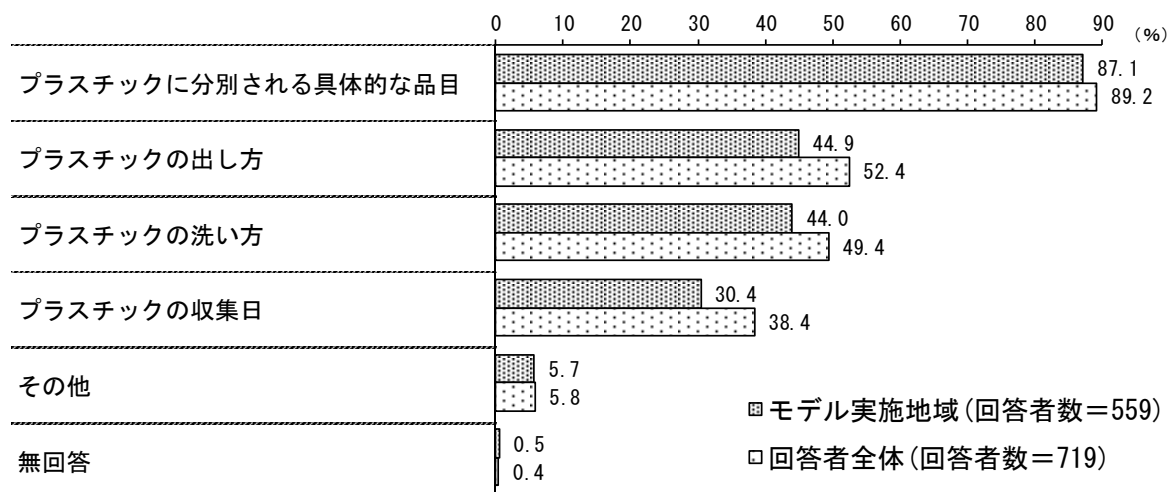


ごみの収集日や分別方法などの周知方法を年代別にみると、「あだち広報で定期的に特集してほしい」は年代が高くなるにつれ、ほぼ割合が高くなっています。

9 プラスチック分別回収についての情報発信の内容

(1) 単純集計

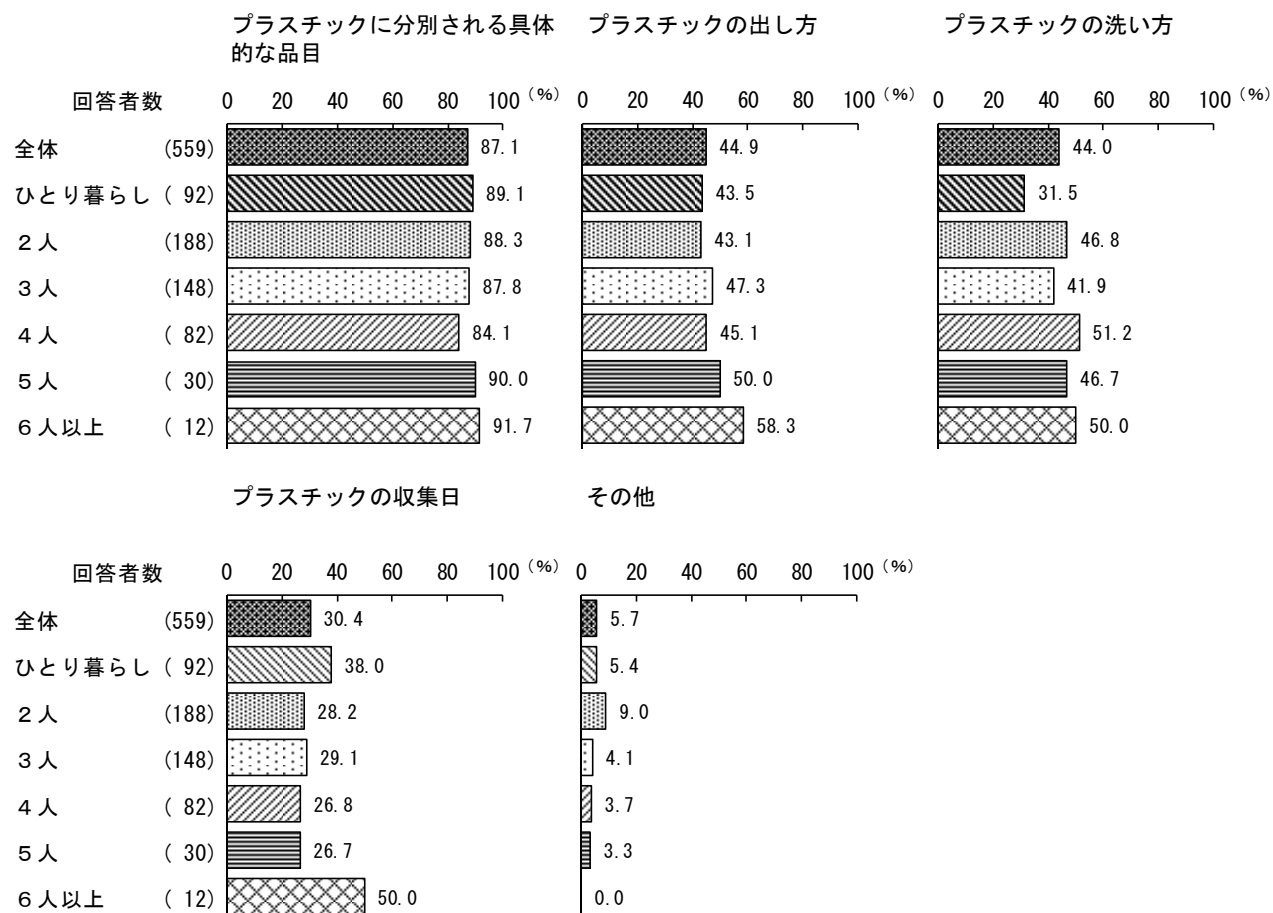
問7 問6で回答したお知らせには、どのような内容が記載されていると分かりやすいですか（〇はあてはまるものすべて）。



プラスチック分別回収についての情報発信で伝えてほしい内容は、モデル実施地域の回答では「プラスチックに分別される具体的な品目」が87.1%で最も高く、次いで「プラスチックの出し方」(44.9%)、「プラスチックの洗い方」(44.0%) などとなっています。

その他の地域を含めた回答者全体の回答でも順位は変わらず、「プラスチックに分別される具体的な品目」が89.2%で最も高く、次いで「プラスチックの出し方」(52.4%)、「プラスチックの洗い方」(49.4%) などとなっています。

(3) クロス集計・同居家族の人数別／プラスチック分別回収についての情報発信の内容

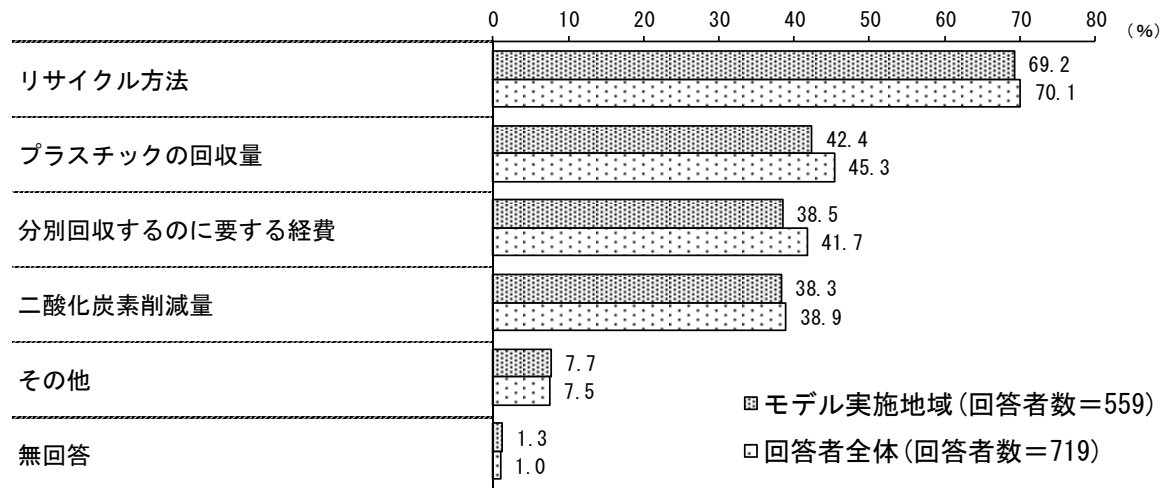


同居家族の人数が6人以上は回答者数が30を下回っているため、あくまで参考値にとどめる必要がありますが、「プラスチックの洗い方」はひとり暮らし（31.5%）が他と比べて低くなっています。また、「プラスチックの収集日」はひとり暮らし（38.0%）が他と比べて高くなっています。

10 分別方法等のほかに知らせてほしい情報

(1) 単純集計

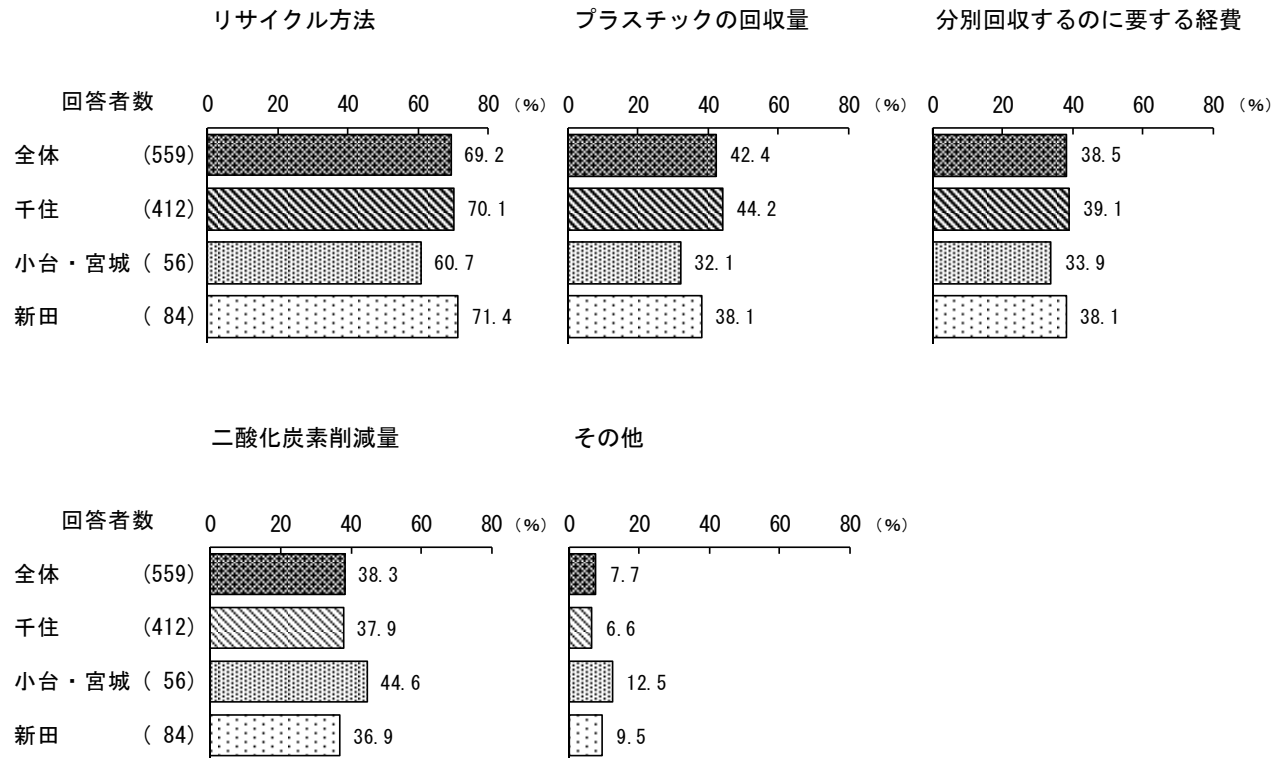
問8 プラスチック分別回収について、分別方法等のほかにどのような情報を知らせてほしいですか（〇はあてはまるものすべて）。



分別方法等のほかに知らせてほしい情報は、モデル実施地域の回答では「リサイクル方法」が69.2%で最も高く、次いで「プラスチックの回収量」(42.4%)、「分別回収するのに要する経費」(38.5%)、「二酸化炭素削減量」(38.3%) などとなっています。

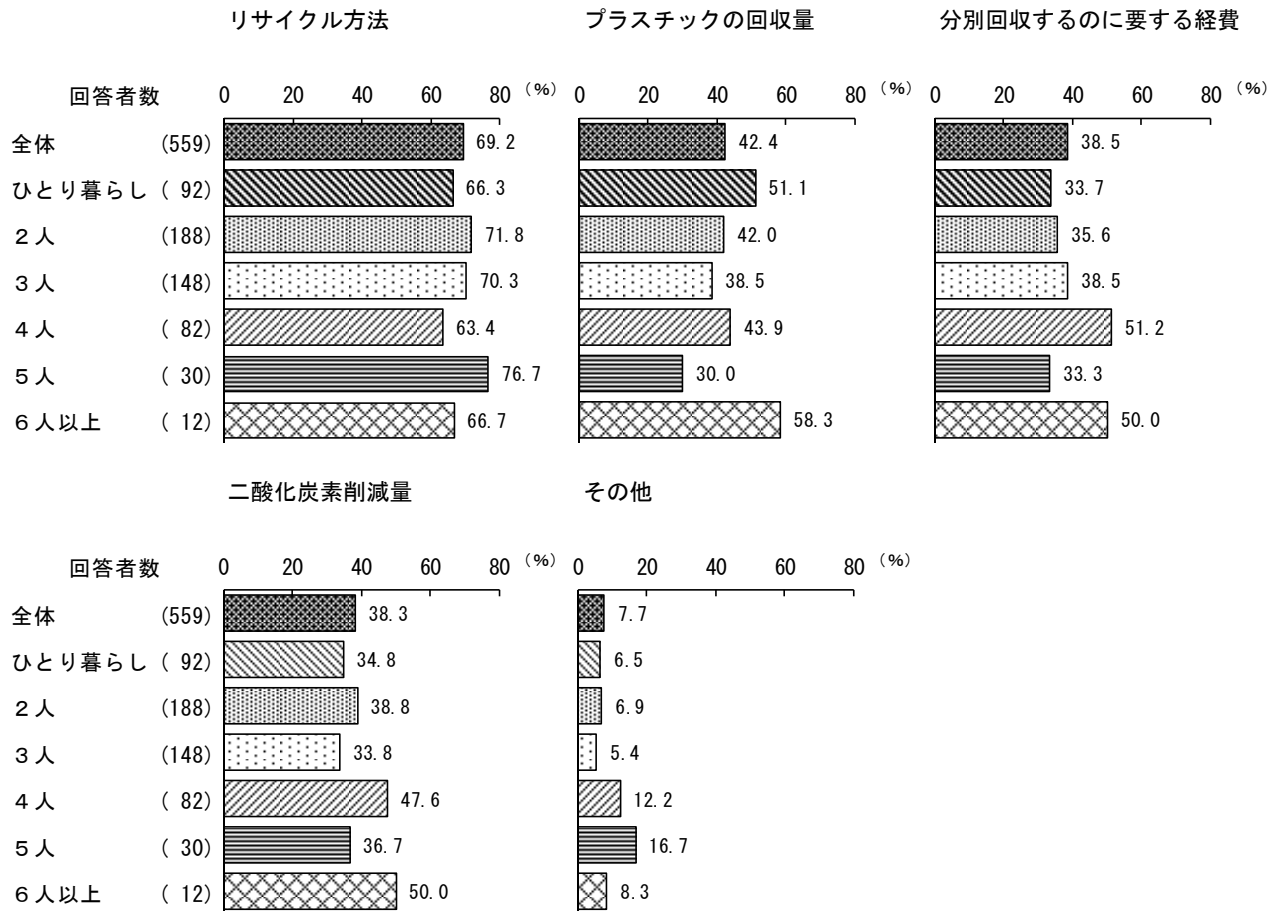
その他の地域を含めた回答者全体の回答でも順位は変わらず、「リサイクル方法」が70.1%で最も高く、次いで「プラスチックの回収量」(45.3%)、「分別回収するのに要する経費」(41.7%)、「二酸化炭素削減量」(38.9%) などとなっています。

(2) クロス集計・地域別／分別方法等のほかに知らせてほしい情報



分別方法等のほかに知らせてほしい情報をモデル実施地域の地域別にみると、「リサイクル方法」は小台・宮城地域（60.7%）が他と比べて低くなっています。

(3) クロス集計・同居家族の人数別／分別方法等のほかに知らせてほしい情報

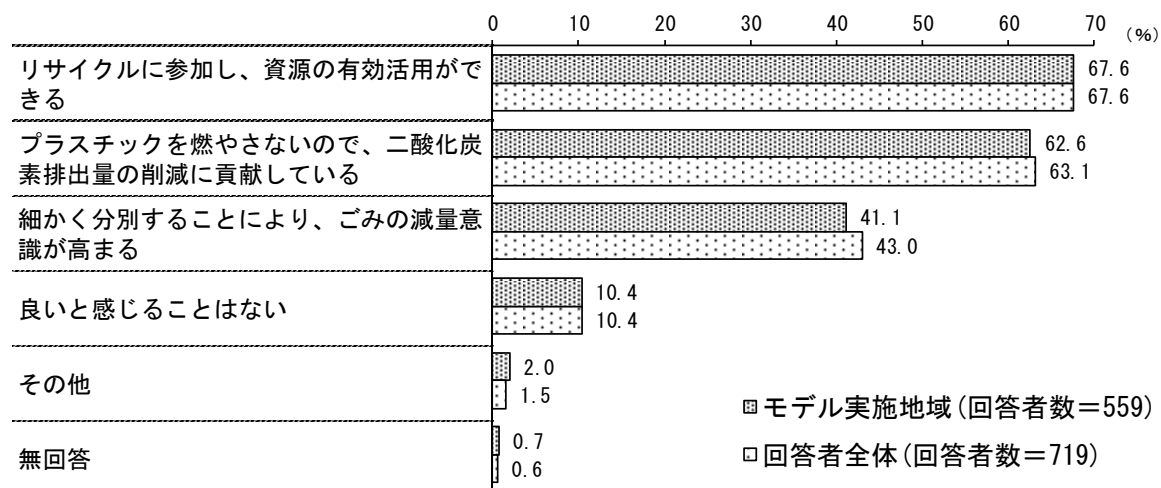


同居家族の人数が6人以上は回答者数が30を下回っているため、あくまで参考値にとどめる必要がありますが、「プラスチックの回収量」は5人家族(30.0%)が他と比べて低くなっています。また、「分別回収するのに要する経費」は4人家族(51.2%)が他と比べて高くなっています。

11 プラスチックを分別回収することについて、良いと思う事柄

(1) 単純集計

問9 あなたがプラスチックを分別回収することについて、良いと思う事柄を選んでください（○はあてはまるものすべて）。



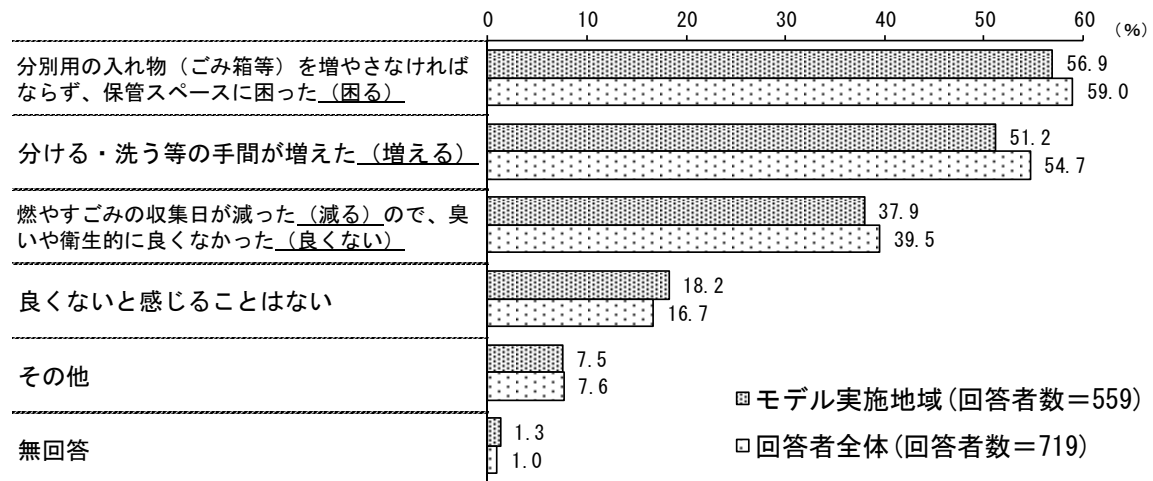
プラスチックを分別回収することについて、良いと思う事柄は、モデル実施地域とその他の地域を含めた回答者全体の構成はほぼ同じで、「リサイクルに参加し、資源の有効活用ができる」（モデル実施地域、回答者全体ともに67.6%）が最も高く、次いで「プラスチックを燃やさないで、二酸化炭素排出量の削減に貢献している」（モデル実施地域62.6%、回答者全体63.1%）となっています。

12 プラスチックを分別回収することについて、良くないと思う事柄

(1) 単純集計

問10 あなたがプラスチックを分別回収することについて、良くないと思う事柄を選んでください（分別回収していない地域にお住まいの方は、どうなるか予想してお答えください）（○はあてはまるものすべて）。

※区政モニターへの設問には下線部分が加えられた



プラスチックを分別回収することについて、良くないと思う事柄は、モデル実施地域の回答では「分別用の入れ物（ごみ箱等）を増やさなければならず、保管スペースに困った」が56.9%で最も高く、次いで「分ける・洗う等の手間が増えた」が51.2%となっています。

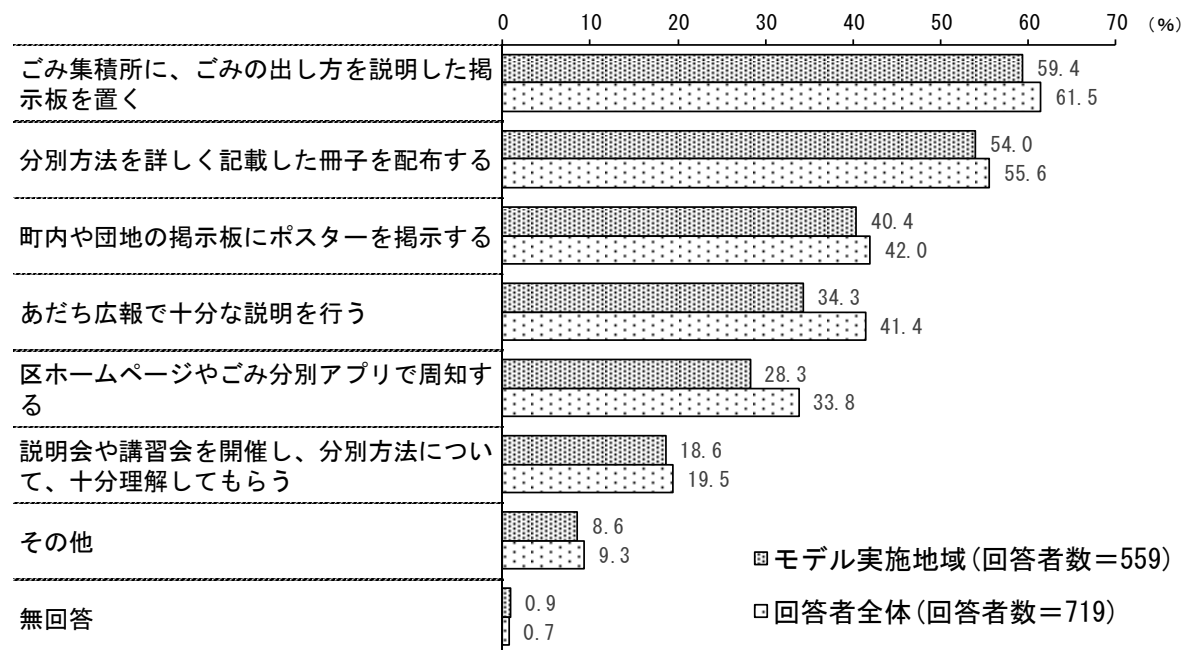
その他の地域を含めた回答者全体の回答でも順位は変わらず、「分別用の入れ物（ごみ箱等）を増やさなければならず、保管スペースに困った（困る）」が59.0%で最も高く、次いで「分ける・洗う等の手間が増えた（増える）」が54.7%となっています。

13 分別ルールを徹底するために必要だと思う対策

(1) 単純集計

問11 今後足立区全域でプラスチックを分別回収する際に、分別ルールを徹底するため、どのような対策が必要となるとお考えですか

(○はあてはまるものすべて)。



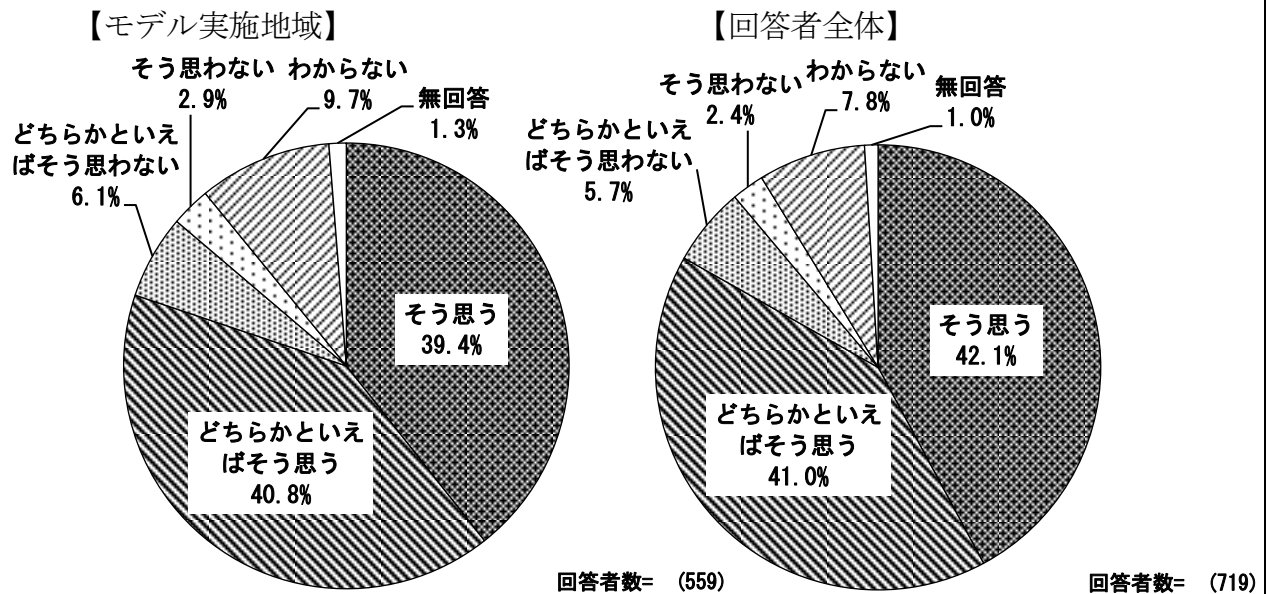
分別ルールを徹底するために必要だと思う対策について聞いたところ、モデル実施地域の回答では「ごみ集積所に、ごみの出し方を説明した掲示板を置く」が59.4%で最も高く、次いで「分別方法を詳しく記載した冊子を配布する」(54.0%)、「町内や団地の掲示板にポスターを掲示する」(40.4%)、「あだち広報で十分な説明を行う」(34.3%) などとなっています。

その他の地域を含めた回答者全体の回答でも順位は変わらず、「ごみ集積所に、ごみの出し方を説明した掲示板を置く」が61.5%で最も高く、次いで「分別方法を詳しく記載した冊子を配布する」(55.6%)、「町内や団地の掲示板にポスターを掲示する」(42.0%)、「あだち広報で十分な説明を行う」(41.4%) などとなっています。

14 アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え

(1) 単純集計

問12 あなたは、今回のアンケートを実施することで、区政の改善につながると
 われますか（○は1つだけ）。



今回のアンケートを実施することで区政の改善につながると思うかについて聞いたところ、モデル実施地域の回答では「どちらかといえばそう思う」が40.8%で最も高く、次いで「そう思う」が39.4%となっています。

その他の地域を含めた回答者全体の回答では「そう思う」が42.1%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が41.0%となっています。

第 4 章 調査票

令和6年度 第1回 足立区政に関する世論調査（小規模調査） 《プラスチック分別回収について》

ご協力のお願い

皆さまには日頃から区政にご支援ご協力いただき、心より御礼申し上げます。

この調査は、令和6年4月からプラスチックの分別回収を行っている地域（千住・小台・宮城・新田）にお住まいの方を対象に、分別に関する意識について調査し、資源回収事業の促進を図ることを目的に行うものです。

実施にあたりまして、千住・小台・宮城・新田にお住まいの18歳以上の方々から無作為に1,000名を選ばせていただきました。調査結果はすべて個人が特定できないように統計的に処理し、お名前などが公表されることは一切ありません。

回答にかかる時間は約10分です。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年9月

足立区長 近藤やよい

□□ ご回答にあたって □□

- 1 調査の回答は、あて名のご本人がお答えください。
- 2 質問によっては、○印は（1つだけ）や（あてはまるものすべて）というように数を指定しておりますので、（ ）内のことわり書きをお読みください。
- 3 回答が「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。
- 4 回答は、《インターネット》または《郵送》のいずれかの方法でお願いいたします。ご回答いただいた方には謝礼として、**500円のQUOカード**をお送りします。
- 5 本調査に関するお問い合わせ先
お問い合わせコールあだち TEL：03-3880-0039
受付時間：午前8時～午後8時／1月1日から3日を除く毎日

ご回答期限：令和6年10月25日

あなたの回答用ID

インターネットによる回答をされる場合、IDを入れ間違えてしまいますと、謝礼をお送りすることができなくなりますので、必ず入力後に確認をお願いします。



足立区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



インターネットによる回答方法



- 1 下記 URL または二次元コードを読み込んで、「足立区オンライン申請システム」の回答専用ページにアクセスしてください。

<https://shinsei.city.adachi.tokyo.jp/apply/guide/2372>

※ パソコンから URL を入力して検索する場合、Yahoo!や Google 等の検索バーではなく、ブラウザのアドレスバーに URL を直接入力してください。

- 2 ログインし、順番に回答してください。

- (1) 「足立区オンライン申請システム」のログインページが展開します。
- (2) アカウントIDをお持ちの方はログインして回答してください。
- (3) アカウントIDをお持ちでない方は、「アカウント登録をしないで申請を続ける」をクリックしてログインしてください。

- 3 回答終了

すべての回答が終わりましたら、「内容を確認する」をクリックし、入力内容を確認してください。確認終了後「申請完了」をクリックしてください。これで終了となります。

■ 注意事項 ■

- (1) 回答は途中保存が可能です。中断される場合は「保存して後で申請する」をクリックし、再開する場合は、途中保存をした際に届いたメールに添付されているURLから回答フォームへログインしてください。入力が完了しているページのみ保存されます。(例) STEP2の途中で中断保存した場合は、STEP1は保存されSTEP2から再度入力します。
- (2) 回答中にブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。
- (3) 通信サービスの接続料金は利用者様の負担となります。
- (4) インターネットで回答された方は、紙の調査票を返送していただく必要はありません。

郵送による回答方法

- 1 調査票に直接回答してください。

- (1) あてはまる番号に直接○印を付けてください。
- (2) ボールペン記載で誤った場合、二重線で消し、正しい回答に○を付けてください。

- 2 調査票を郵送してください。

回答が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に調査票を入れて、令和6年10月25日までに投かんしてください。期日を過ぎてから投かんいただいた場合、謝礼をお送りすることはできません。何卒ご了承ください。

■ 注意事項 ■

返信用封筒には、住所・お名前を記入なさらないようお願いします。

これからお聞きすることは、お答えいただく内容を統計的に分類するための質問です

F 1 あなたの性別は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。（回答者数＝559）

1 男 性	41.7%	4 答えたくない	0.9
2 女 性	57.2	無回答	0.2
3 どちらでもない	-		

※区政モニターの方には聴いていない設問ですが、事前に情報提供いただいている内容を反映しています。

F 2 あなたの年代は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。（回答者数＝559）

1 10代	0.7%	4 40代	16.8	7 70代以上	27.4
2 20代	9.7	5 50代	19.3	無回答	0.2
3 30代	11.4	6 60代	14.5		

※区政モニターの方には聴いていない設問ですが、事前に情報提供いただいている内容を反映しています。

F 3 あなたのお住まい（住居）は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

（回答者数＝559）

1 一戸建て持家	36.0%	6 社宅・公務員住宅	0.9
2 一戸建て借家	1.1	7 間借り・住み込み	0.2
3 分譲マンション	32.4	8 その他	-
4 賃貸マンション・アパート	21.5	()	
5 都市再生機構（旧公団）・公 社・都営住宅・区営住宅	7.7	無回答	0.4

F 4 あなたを含め、同居の家族の人数は何人ですか（○は1つだけ）。

（回答者数＝559）

1 ひとり暮らし	16.5%	4 4人	14.7	無回答	1.3
2 2人	33.6	5 5人	5.4		
3 3人	26.5	6 6人以上	2.1		

（F 4で「1 ひとり暮らし」以外とお答えの方に）

F 4-1 現在、あなたと一緒に暮らしている方はどなたですか

（○はあてはまるものすべて）。（回答者数＝460）

1 配偶者	65.9%	4 子ども	47.2	7 その他	3.0
2 父・母	14.1	5 孫	2.8	()	
3 祖父・祖母	0.7	6 兄弟・姉妹	6.5	無回答	8.3

F 5 現在、あなたは町会・自治会に加入していますか（○は1つだけ）。

（回答者数=559）

1	加入している	53.1%	無回答	13.2
2	加入していない	33.6		

ごみ出しの現状について、お伺いします

問1 あなたは、普段ごみを出す際、どこに出していますか（〇は1つだけ）。

（回答者数=559）

1	地域のごみ集積所	42.2%	3	その他（	）	2.0
2	マンション・アパート専用のごみ集積所	55.5		無回答		0.4

プラスチック分別回収について、お伺いします

問2 あなたは、お住まいの地域でプラスチックを分別回収していることを知っていますか（〇は1つだけ）。（回答者数=559）

1	知っている	96.1%	2	知らない	3.6	無回答	0.4
---	-------	-------	---	------	-----	-----	-----

（問2で「1 知っている」とお答えの方に）

問2-1 プラスチックを分別回収していることをどのように知りましたか

（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数=537）

1	あだち広報	38.0%	5	町会・自治会の回覧板	27.0
2	住民説明会	6.1	6	集積所・自治会等の掲示板	35.0
3	区で配布されたチラシや冊子	56.6	7	家族・知人から聞いた	13.6
4	区ホームページやごみ分別アプリ	5.4	8	その他（ ） 無回答	4.1 -

問3 プラスチック分別はどれくらいできていますか（〇は1つだけ）。

（回答者数=559）

1	ほぼ分別できる	58.9%	3	あまり分別できない	6.1
2	ある程度分別できる	30.8	4	ほとんど分別できない	4.1
				無回答	0.2

(問3で「3 あまり分別できない」「4 ほとんど分別できない」とお答えの方に)

問3-1 できない理由は何ですか(○は1つだけ)。(回答者数=57)

1	分別方法がよく分からない	28.1%	4	興味が無いから	3.5
2	分別するのは、手間がかかり面倒であるから	50.9	5	その他 ()	17.5
3	誰かがやってくれると思うから	-		無回答	-

問4 プラスチックについて中身や汚れが残っていたものはどうされましたか

(○は1つだけ)。(回答者数=559)

1	丁寧に洗ってきれいにした状態で「プラスチックの日」に出した	21.6%
2	軽く洗って見た目で汚れが落ちている状態で「プラスチックの日」に出した	58.7
3	汚れなど気にせずそのまま「プラスチックの日」に出した	2.9
4	「燃やすごみの日」に出した	13.4
5	その他()	1.8
	無回答	1.6

問5 プラスチックを分別したことで燃やすごみの割合(容積)はどれくらい減ったと感じますか(○は1つだけ)。(回答者数=559)

1	7割以上減った	15.0%	4	1~2割減った	15.4
2	5~6割減った	34.0	5	ほとんど減っていない	10.7
3	3~4割減った	24.7		無回答	0.2

問6 ごみの収集日や分別方法などの情報をどのように知らせてほしいですか

(○はあてはまるものすべて)。(回答者数=559)

1	あだち広報で定期的に特集してほしい	54.6%	4	冊子を配布してほしい	56.0
2	Aメール配信で知らせてほしい	11.1	5	その他 ()	6.6
3	定期的にSNSで発信してほしい	12.7		無回答	0.7

問7 問6で回答したお知らせには、どのような内容が記載されていると分かりやすいですか（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数＝559）

1 プラスチックに分別される具体的な品目	87.1%	4 プラスチックの洗い方	44.0
2 プラスチックの出し方	44.9	5 その他（ ）	5.7
3 プラスチックの収集日	30.4	無回答	0.5

問8 プラスチック分別回収について、分別方法等のほかにどのような情報を知らせてほしいですか（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数＝559）

1 プラスチックの回収量	42.4%	4 二酸化炭素削減量	38.3
2 分別回収するのに要する経費	38.5	5 その他（ ）	7.7
3 リサイクル方法	69.2	無回答	1.3

問9 あなたがプラスチックを分別回収することについて、良いと思う事柄を選んでください（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数＝559）

1 リサイクルに参加し、資源の有効活用ができる	67.6%	3 細かく分別することにより、ごみの減量意識が高まる	41.1
2 プラスチックを燃やさないで、二酸化炭素排出量の削減に貢献している	62.6	4 良いと感じることはない	10.4
		5 その他（ ）	2.0
		無回答	0.7

問10 あなたがプラスチックを分別回収することについて、良くないと思う事柄を選んでください（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数＝559）

1 分ける・洗う等の手間が増えた	51.2%	3 燃やすごみの収集日が減ったので、臭いや衛生的に良くなかった	37.9
2 分別用の入れ物（ごみ箱等）を増やさなければならず、保管スペースに困った	56.9	4 良くないと感じることはない	18.2
		5 その他（ ）	7.5
		無回答	1.3

問11 今後足立区全域でプラスチックを分別回収する際に、分別ルールを徹底するため、どのような対策が必要となると思いますか（〇はあてはまるものすべて）。

（回答者数＝559）

1	説明会や講習会を開催し、分別方法について、十分理解してもらう	18.6%
2	町内や団地の掲示板にポスターを掲示する	40.4
3	ごみ集積所に、ごみの出し方を説明した掲示板を置く	59.4
4	分別方法を詳しく記載した冊子を配布する	54.0
5	区ホームページやごみ分別アプリで周知する	28.3
6	あだち広報で十分な説明を行う	34.3
7	その他（ ）	8.6
	無回答	0.9

問12 多数の質問にお答えいただきありがとうございました。最後におうかがいします。
あなたは、今回のアンケートを実施することで、区政の改善につながると考えられますか（〇は1つだけ）。（回答者数＝559）

1	そう思う	39.4%	4	そう思わない	2.9
2	どちらかといえばそう思う	40.8		（理由： ）	
3	どちらかといえばそう思わない	6.1	5	わからない	9.7
				無回答	1.3

※千住・小台・宮城・新田の4地域にお住まいの方（モデル実施地域）の数値を記載

